

# DCS-5222L

HD Wireless N Pan & Tilt Network Camera

## ユーザマニュアル



# 目次

---

<b>1. お使いになるまえに</b> .....	<b>4</b>
本製品について .....	5
機能概要 .....	5
本製品の特長 .....	5
商品名と品番 .....	5
本マニュアルについて .....	6
マニュアルの構成 .....	6
マニュアルの対象者 .....	6
表記規則 .....	6
安全にお使いいただくために .....	7
ご使用上の注意 .....	8
静電気障害を防止するために .....	9
バッテリーの取り扱いについて .....	9
電源の異常 .....	9
<b>2. 設置のしかた</b> .....	<b>10</b>
パッケージの内容 .....	11
動作環境 .....	11
設置についてのご注意 .....	11
本体各部名称 .....	12
前面 .....	12
側面 .....	12
背面 .....	13
LED表示 .....	13
製品の接続 .....	14
製品の設置 .....	15
マウントプレートを使用して設置する .....	15
連結式マウントアームを使用して設置する .....	16
インストールウィザード .....	17
mydlink .....	18
<b>3. WEB GUI 画面について</b> .....	<b>19</b>
WEB GUI画面へのログイン .....	20
WEB GUI画面からのログアウト .....	20
Web GUI画面の構成 .....	21
LIVE VIDEO .....	21
SETUP .....	22
ADVANCED .....	22
MAINTENANCE .....	23
STATUS .....	23
HELP .....	24
<b>4. Set Up (基本設定)</b> .....	<b>25</b>
Setup Wizard .....	26
インターネット接続設定 .....	26
IPカメラ動体検知設定 .....	28
Network Setup .....	30
Wireless Setup .....	34
Dynamic DNS .....	35
Image Setup .....	36
Audio and Video .....	37
PTZ Setup .....	39
Motion Detection .....	41
Sound Detection .....	42

---

Time and Date .....	43
Event Setup .....	44
SERVER .....	45
MEDIA .....	46
EVENT .....	47
RECORDING .....	49
SD Card .....	50
<b>5. Advanced (詳細設定) .....</b>	<b>51</b>
DI and DO .....	52
ICR and IR .....	53
HTTPS .....	54
Access List .....	55
<b>6. Maintenance(メンテナンス) .....</b>	<b>56</b>
Admin .....	57
System .....	59
Firmware Upgrade .....	60
<b>7. Status(ステータス) .....</b>	<b>61</b>
Device Info .....	62
Log .....	63
<b>8. 付録 .....</b>	<b>64</b>
工場出荷時設定に戻す .....	65
リセットボタンを使用する場合 .....	65
Web GUIからリセットする場合 .....	65
DI/DO コネクタについて .....	66
各ピンの機能 .....	66
配線図 .....	66
FAQ .....	67
機能設定例 .....	68
対象機器について .....	68
SDカードへの動体検知録画設定 .....	68

---

---

# お使いになるまえに

# 1

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書および設置マニュアルをよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で記載事項に従ってご使用ください。

■ 本製品について.....	5
機能概要.....	5
本製品の特長.....	5
商品名と品番.....	5
■ 本マニュアルについて.....	6
マニュアルの構成.....	6
マニュアルの対象者.....	6
表記規則.....	6
■ 安全にお使いいただくために.....	7
■ ご使用上の注意.....	8
■ 静電気障害を防止するために.....	9
■ バッテリーの取り扱いについて.....	9
■ 電源の異常.....	9

# 本製品について

## ■機能概要

DCS-5222L は、720 ピクセル高画質対応、動体検知機能など小筐体で優れたコストパフォーマンスを提供するクラウド対応パン&チルトネットワークカメラです。IEEE 802.11n に準拠、無線環境でリモートでの管理にも対応しています。mydlink クラウドに接続すると、Web ブラウザを使用して簡単にインターネット経由でどこからでもライブ映像の視聴やカメラの管理を行うことが可能です。また、クラウド対応のネットワークビデオレコーダー、DNR-312L に接続することで、大容量の録画を快適に管理・閲覧することができます。

## ■本製品の特長

- my dlink クラウド対応
- 802.11n 対応
- 動体検知
- NVR (DNR-312L) 対応
- microSD/SDHCカードスロット搭載
- マイク/スピーカー内蔵
- IPv6 対応
- H.264
- ePTZ
- ONVIF
- UPnP、DDNS 対応
- RoHS 指令対応

## ■商品名と品番

商品名	品番
DCS-5222L	DCS-5222L

# 本マニュアルについて

## ■ マニュアルの構成

### 1章: お使いになるまえに

本マニュアルの紹介と、本製品をお使いになる前の注意事項を記載しています。

→『[お使いになるまえに:p.4](#)』

### 2章: 設置のしかた

本製品の各部名称と設置方法について説明します。

→『[設置のしかた:p.10](#)』

### 3章: WEB GUI画面について

本製品の設定・管理を行うWEB GUIへのログイン方法および画面構成について説明します。

→『[WEB GUI画面について:p.19](#)』

### 4章: Setup(基本設定)

ネットワーク設定やプロフィールの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。

→『[Set Up \(基本設定\):p.25](#)』

### 5章: Advanced(詳細設定)

ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。

→『[Advanced \(詳細設定\):p.51](#)』

### 6章: Maintenance(メンテナンス)

管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。

→『[Maintenance\(メンテナンス\):p.56](#)』

### 7章: Status(ステータス)

カメラのデバイス情報とログを表示します。

→『[Status\(ステータス\):p.61](#)』

### 8章: 付録

製品を工場出荷時の設定に戻す方法や、FAQ(よくご質問いただく内容)などについて記載しています。

→『[付録:p.64](#)』

## ■ マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

## ■ 表記規則

本マニュアルでは以下の記号を使用します。

**⚠警告** この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。

**⚠注意** この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

**重要** 設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

**メモ** 特長や技術についての詳細情報を記述します。

本マニュアル中での字体、記号についての表記規則は以下のとおりです。

字体	解説	例
『水色』	マニュアル内の参照先	『 <a href="#">Set Up (基本設定):p.25</a> 』
[青色]	画面遷移	[ <a href="#">SETUP</a> ] > [ <a href="#">Setup Wizard</a> ]



# 安全にお使いいただくために



ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

## 安全上のご注意












必ずお守りください






本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
 <b>注意</b>	この表示を無視し、間違った使い方をすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。





記号の意味  してはいけない「禁止」内容です。  必ず実行していただく「指示」の内容です。

### 警告

-  **分解禁止** 分解・改造をしない  
機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因となります。
-  **禁止** 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない  
故障の原因につながります。
-  **禁止** 発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま使用しない  
感電、火災の原因になります。  
使用を止めて、ケーブル/コード類を抜いて、煙が出なくなつてから販売店に修理をご依頼してください。
-  **ぬれ手禁止** ぬれた手でさわらない  
感電のおそれがあります。
-  **水ぬれ禁止** 水をかけたり、ぬらしたりしない  
内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  **禁止** 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しいところでは使わない  
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  **禁止** 内部に金属物や燃えやすいものを入れない  
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  **禁止** 表示以外の電圧で使用しない  
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  **禁止** たこ足配線禁止  
たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の原因となります。
-  **禁止** 設置、移動のときは電源プラグを抜く  
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  **禁止** 雷鳴が聞こえたら、ケーブル/コード類にはさわらない  
感電のおそれがあります。

-  **禁止** ケーブル/コード類や端子を破損させない  
無理なねじり、引っ張り、加工、重いもの下敷きなどは、ケーブル/コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、または故障につながります。
-  **禁止** 正しい電源ケーブル、コンセントを使用する  
火災、感電、または故障の原因となります。
-  **禁止** 乳幼児の手の届く場所では使わない  
やけど、ケガ、または感電の原因になります。
-  **禁止** 次のような場所では保管、使用をしない  
・直射日光のあたる場所  
・高温になる場所  
・動作環境範囲外
-  **禁止** 光源をのぞかない  
光ファイバケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタをのぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

### 注意

-  **静電気注意**  
コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけますと故障の原因となります。
-  **コードを持って抜かない**  
コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の破損の原因となります。
-  **振動が発生する場所では使用しない**  
接触不良や動作不良の原因となります。
-  **禁止** 付属品の使用は取扱説明書にしたがう  
付属品は取扱説明書にしたがい、他の製品には使用しないでください。機器の破損の原因となります。

## ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- ◎ 保守マーク表示を守ってください。また、ドキュメント類に説明されている以外の方法でのご使用はやめてください。三角形の中に稲妻マークがついたカバー類をあけたり外したりすると、感電の危険性を招きます。筐体の内部は、訓練を受けた保守技術員が取り扱うようにしてください。
- ◎ 以下のような状況に陥った場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて、部品の交換をするかサービス会社に連絡してください。
  - 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグが破損した。
  - 製品の中に異物が入った。
  - 製品に水がかかった。
  - 製品が落下した、または損傷を受けた。
  - 操作方法に従って運用しているのに正しく動作しない。
- ◎ 本製品をラジエータや熱源の近くに置かないでください。また冷却用通気孔を塞がないようにしてください。
- ◎ 食べ物や飲み物が本製品にかからないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。万一製品が濡れてしまった場合は、トラブルシューティングガイドの該当する文をお読みになるか、サービス会社に連絡してください。
- ◎ 本システムの開口部に物を差し込まないでください。内部コンポーネントのショートによる火事や感電を引き起こすことがあります。
- ◎ 本製品と一緒にその他のデバイスを使用する場合は、弊社の認定を受けたデバイスを使用してください。
- ◎ カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- ◎ 電気定格ラベル標記と合致したタイプの外部電源を使用してください。正しい外部電源タイプがわからない場合は、サービス会社、あるいはお近くの電力会社にお問い合わせください。
- ◎ システムの損傷を防ぐために、電源装置の電圧選択スイッチ（装備されている場合のみ）がご利用の地域の設定と合致しているか確認してください。
  - 東日本では100V/50Hz、西日本では100V/60Hz
- ◎ また、付属するデバイスが、ご使用になる地域の電気定格に合致しているか確認してください。
- ◎ 付属の電源ケーブルのみを使用してください。
- ◎ 感電を防止するために、本システムと周辺装置の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。
- ◎ 延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは電源分岐回路の定格アンペア限界の8割を超えないことを確認してください。
- ◎ 一時的に急激に起こる電力の変動からシステムコンポーネントを保護するには、サージサプレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置（UPS）を使用してください。
- ◎ ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたりつまずいたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- ◎ 電源ケーブルやプラグを改造しないでください。設置場所の変更をする場合は、資格を持った電気技術者または電力会社にお問い合わせください。国または地方自治体の配線規則に必ず従ってください。
- ◎ システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
  - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
  - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
  - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いてください。
- ◎ 製品の移動は気をつけて行ってください。カメラカバーなどがしっかり装着されているか確認してください。



## 静電気障害を防止するために

静電気は、システム内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなどの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。シャーシの塗装されていない金属面に定期的に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

さらに、静電気放出 (ESD) による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 静電気に敏感なコンポーネントを箱から取り出す時は、コンポーネントをシステムに取り付ける準備が完了するまで、コンポーネントを静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃がしてください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
3. 静電気に敏感なコンポーネントの取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

## バッテリーの取り扱いについて

### 警告

不適切なバッテリーの使用により、爆発などの危険性が生じることがあります。バッテリーの交換は、必ず同じものか、製造者が推奨する同等の仕様のものでご使用ください。バッテリーの廃棄については、製造者の指示に従って行ってください。

## 電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

---

# 設置のしかた

# 1

本製品の各部名称や、設置する際の準備・方法について説明します。  
設置を行う際にお読みください。

■ パッケージの内容	11
■ 動作環境	11
■ 設置についてのご注意	11
■ 本体各部名称	12
前面	12
側面	12
背面	13
■ LED表示	13
電源/リンクLED	13
WPS LED	13
■ 製品の接続	14
■ 製品の設置	15
マウントプレートを使用して設置する	15
連結式マウントアームを使用して設置する	16
■ インストールウィザード	17
■ mydlink	18
mydlink アカウントへのアクセス方法	18

## パッケージの内容

本製品には、以下のものが同梱されています。

- ・ 本体
- ・ ネットワークケーブル
- ・ オーディオ イン/アウト ケーブル
- ・ 電源アダプタ
- ・ マウントキット (マウントプレートおよび連結式マウントアーム)
- ・ CD-ROM
- ・ マニュアル
- ・ シリアルラベル

不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、弊社ホームページにてユーザ登録を行い、サポート窓口までご連絡ください。

## 動作環境

本製品の動作には、以下の環境が必要です。

- ・ 以下のブラウザをサポートしているコンピュータ
  - Microsoft Internet Explorer 9 以降
  - Apple Safari 4 以降
- ・ イーサネットへの接続または802.11n/g/bへの接続
- ・ microSDメモ리카ード  
映像を保存するにはmicroSDメモ리카ードが必要です。Class 10以上のものを使用することをおすすめします。

## 設置についてのご注意

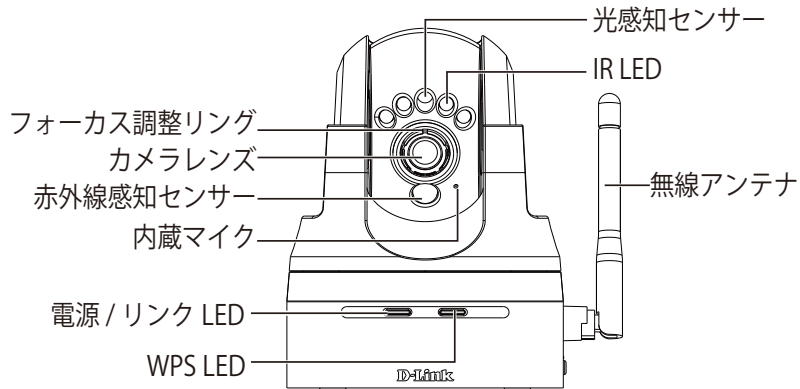
製品を設置する前に以下の注意事項をご確認ください。

- ◎ アダプタと他のネットワークデバイス (ネットワークカメラなど) との間に入る壁や天井の数をできるだけ少なくしてください。一枚の壁や天井の影響により、アダプタの動作範囲は1 ~ 30メートルの範囲となります。間に入る障害物の数を減らすようデバイスの位置を工夫してください。
- ◎ ネットワークデバイス間の直線距離にご注意ください。  
厚さ50センチの壁を45度の角度で無線信号が通過する時、通り抜ける壁の厚みは約1メートルになります。2度の角度で通過すると、通り抜ける厚みは14メートルになります。信号が障害物をなるべく直角に通過するような位置にデバイスを設置し、電波を受信しやすくしてください。
- ◎ 無線信号の通過性能は建築材料により異なります。  
金属製のドアやアルミの金具などは動作範囲を小さくする可能性があります。無線LAN デバイスや無線LAN アダプタ使用のコンピュータの設置は、信号がなるべく乾式壁が開放された戸口などを通るような位置に設置してください。
- ◎ 周波数ノイズを発生する電気機器や家電製品からは、最低でも1、2メートル離してデバイスを設置してください。
- ◎ 2.4GHz のコードレス電話またはX-10 (シーリングファン、ライト、およびホームセキュリティシステムなどの無線製品) を使っている場合、ご使用の無線接続は著しく性能が低下するか、または完全に切断される可能性があります。2.4GHz 電話の親機は可能な限りご使用の無線機器から離れていることを確認してください。電話を使用していない場合でも、親機は信号を送信します。
- ◎ 必ず付属のUTP ケーブル、AC アダプタをご使用ください。

## 本体各部名称

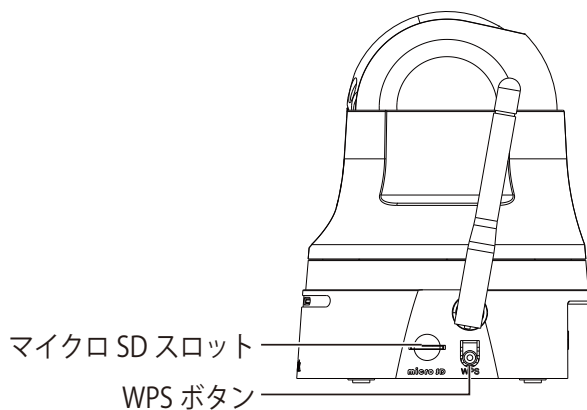
本製品の各部名称について説明します。

### ■前面



名称	説明
フォーカス調整リング	カメラのフォーカスを調整します。
カメラレンズ	撮影を行います。
赤外線検知センサー	動体検知に使用されます。
内蔵マイク	音声の録音を行います。
電源 / リンクLED	電源およびリンクの状態を示します。
WPS LED	WPS (Wi-Fi Protected Setup)の状態を示します。
光感知センサー	明るさを検知します。赤外線LED
IR LED	赤外線LEDです。夜間など撮影環境の照度が低い場合に使用します。
無線アンテナ	無線の受信を行います。

### ■側面

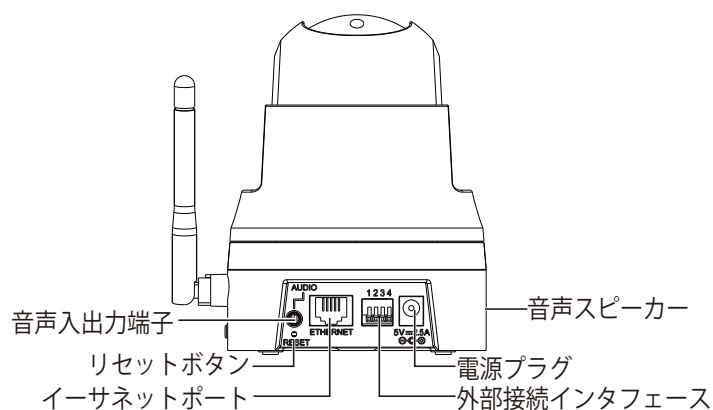


名称	説明
マイクロSDスロット	micro SDカードを挿入します。
WPSボタン	WPS (Wi-Fi Protected Setup)を使用して接続を行う際に使用します。

### メモ

WPSおよびWPS接続の方法については、クイックインストールガイドまたは『FAQ:p.67』の該当項目を参照してください。

## ■背面



名称	説明
音声入出力端子	付属のオーディオ イン/アウト ケーブルを接続し、マイクやスピーカーなどへ音声の入出力を行います。
リセットボタン	設定を工場出荷時状態に戻すときに使用します。
イーサネットポート	イーサネットケーブルを接続します。
音声スピーカー	音声を出すことができます。
電源プラグ	電源ケーブルを接続します。
外部接続インターフェース	センサーやアラームを接続する際に使用します。

## メモ

- Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。
- オーディオ イン/アウト ケーブルを使用する場合は、ピンクのコネクタ (オーディオ入力) にマイクを接続し、緑のコネクタ (オーディオ出力) にスピーカーを接続します。

## LED表示

電源/リンクLEDおよびWPS LEDの表示内容について説明します。

## ● 電源/リンクLED

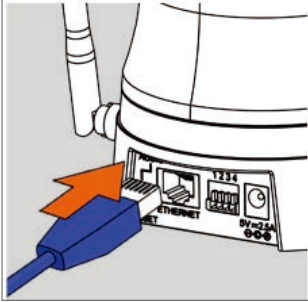
色	状態	説明
緑	点灯	電源がはいついて、リンクが確立しています。
	点滅	モニタリングを実行しています。
赤	点灯	電源がはいついています。リンクは確立していません。
—	消灯	電源がはいついていません。

## ● WPS LED

色	状態	説明
青	点灯	WPS接続が確立しています。
	点滅 (1秒間隔)	モニタリングを実行しています。
	10秒間点滅 (0.1秒間隔) 後に消灯	WPS接続に失敗、またはスタンバイ状態です。
—	消灯	WPS接続が確立していません。

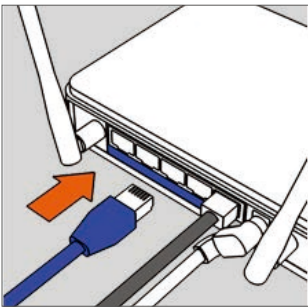
## 製品の接続

1. イーサネットケーブルを本体に接続します。



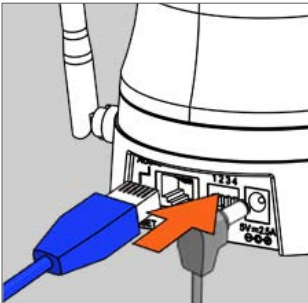
イーサネットケーブルの一端を本体のイーサネットポートに接続します。

2. イーサネットケーブルをネットワーク機器に接続します。



イーサネットケーブルの另一端を、ルータ/スイッチ等のネットワーク機器に接続します。

3. 電源に接続します。



同梱されているACアダプタを本製品に接続します。  
ACアダプタのプラグを電源に接続します。

4. 必要に応じて、mydlink に本製品を登録します。

メモ

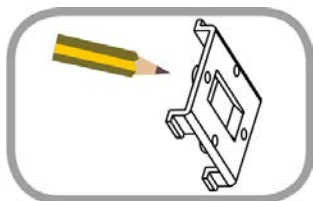
mydlinkについては、『mydlink:p.18』を参照してください。

## 製品の設置

本製品の設置方法について説明します。  
 マウントプレートを使用する方法と、連結式マウントアームを使用する方法があります。  
 設置を行う前に本製品の設定を行うことをおすすめします。

### ■マウントプレートを使用して設置する

#### 1. 設置する位置を決定します。

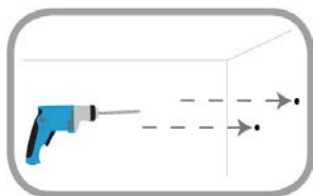


カメラを取り付けたい場所にマウントプレートを置き、穴の位置をマークします。

#### ⚠注意

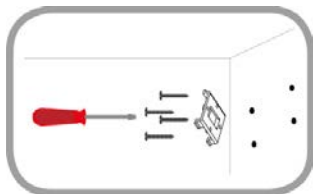
- ・マウントプレートが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

#### 2. 壁にマウントプレートを取り付ける穴をあけます。



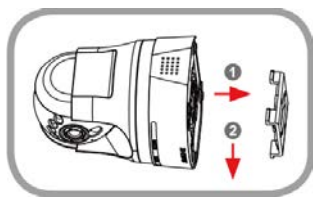
穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。  
 設置場所がコンクリート製の場合は、穴をあけたあとにプラスチックアンカを挿入します。

#### 3. マウントプレートを設置場所に取り付けます。



あけた穴の位置に合わせてマウントプレートを置き、マウントプレートをネジで取り付けます。  
 取り付け後、マウントプレートを軽く引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。

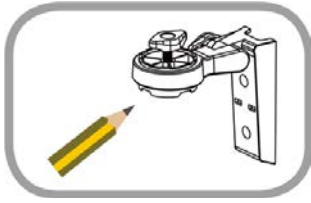
#### 4. 本体をマウンティングプレートに取り付けます。



- ①マウントプレートに合わせてカメラを取り付けます。
- ②カチッと音がするまで、しっかりとカメラをスライドさせます。

## ■ 連結式マウントアームを使用して設置する

1. 設置する位置を決定します。

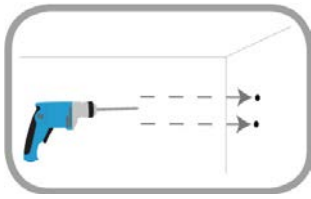


カメラを取り付けたい場所にマウントアームを置き、穴の位置をマークします。

### ⚠ 注意

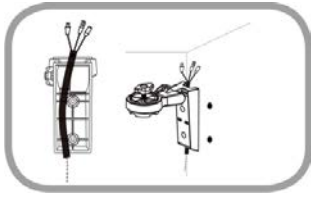
- ・マウントアームが正しい方向になっていることを確認してください。
- ・カメラを設置した際に、必要なケーブルを接続する十分なスペースがあることを確認してください。

2. 壁にマウントアームを取り付ける穴をあけます。



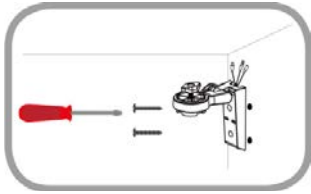
穴をあける際は、取り付ける場所の材質に応じて、適切な器具を使用してください。  
設置場所がコンクリート製の場合は、穴をあけたあとにプラスチックアンカを挿入します。

3. マウントアームにケーブルを通します。



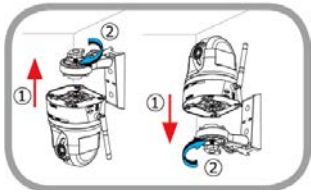
マウントアームに必要なケーブルを通し、あけた穴に合わせてマウントアームを置きます。

4. マウントアームを取り付けます。



マウントアームをネジで取り付けます。  
取り付け後、マウントアームを軽く引っ張り、しっかりと固定されていることを確認してください。

5. 本体をマウントアームに取り付けます。



- ①カメラをマウントアームの取り付け位置に合わせて置きます。
- ②取り付け用ボルトを締めて、カメラを固定します。

### ⚠ 注意

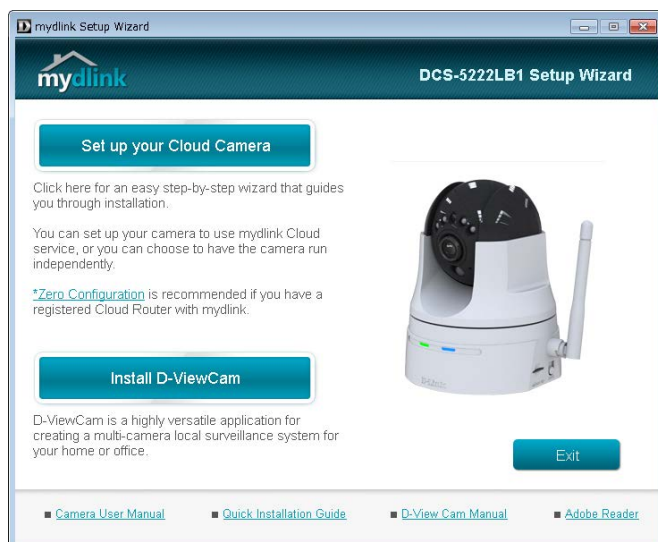
取り付け後、カメラがしっかりと固定されているか確認してください。



# インストールウィザード

同梱されたCDのインストールウィザードを利用して設定を行うことができます。

1. CD-ROMをお使いのPCに挿入し、セットアップウィザードを開始します。
2. [Set up your Cloud Camera] をクリックし、画面の表示にしたがって設定を行ってください。



## 重要

インストールウィザードでは、本製品のIPアドレスおよびユーザ名、アカウントの設定も行います。Web GUIにアクセスするため、以下の情報をメモしておいてください。

- 本製品のIPアドレス
- ユーザ名
- パスワード

# mydlink

mydlink を使用すると、インターネットに接続されたコンピュータを介して、mydlink に登録されたデバイスを閲覧・制御することができます。

## 重要

- mydlinkサイトからのお問い合わせページは利用ができませんので、ご注意ください。  
お問合せは、mydlinkサイトのお問合せメニューからではなく、必ず下記のディーリンクジャパンのサポートページからお問合せください。  
<http://www.dlink-jp.com/support/contact>


### ● mydlink アカウントへのアクセス方法

1. インターネットに接続されたコンピュータ上で Web ブラウザを開きます。
2. アドレスバーに <http://www.mydlink.com> を入力し、Enter を押下します。
3. アカウントを入力してサインインします。

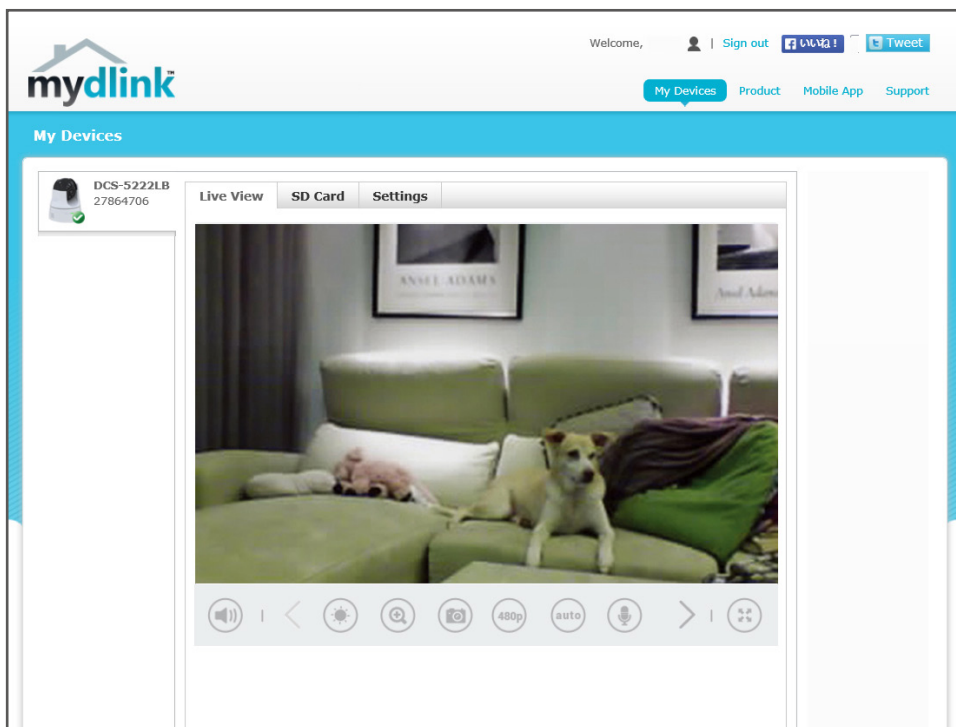
## 重要

- Java およびActiveXの両方をブラウザがサポートしており、これらの機能がインストールされ有効化されていることをご確認ください。
- Windows はデフォルトでJava がインストールされていません。<http://www.java.com> から最新バージョンをダウンロードすることができます。
- MAC OS X 10.7.xにおいて、Java アプレットはデフォルトで無効化されています。Java アプレットを有効化するには、Finder > アプリケーション > ユーティリティ > Java Preferences をクリックし、アプレットプラグインとWeb 開始アプリケーションオプションが有効になっていることを確認してください。
- IE 内のActiveX® コントロールは必要に応じて自動的にインストールされます。ツール > インターネットオプション > セキュリティ > カスタムレベル内の関連オプションが有効化されていることを確認することをお勧めします。

## メモ

- 付属のCD-ROMからインストールウィザードを実行すると、PCのデスクトップにmydlinkへのショートカットが作成されます。ショートカットをクリックするとmydlinkのログイン画面にアクセスすることができます。
- mydlink画面右下の  Language: English ▲ アイコンで、表示言語を選択することができます。

### ◆ mydlink 画面の例:



---

# WEB GUI 画面について 3

本製品は、WEB GUI画面から設定・操作を行うことができます。  
WEB GUI画面へのログイン方法と画面構成について説明します。

■ WEB GUI画面へのログイン .....	20
■ WEB GUI画面からのログアウト .....	20
■ Web GUI画面の構成 .....	21
LIVE VIDEO .....	21
SETUP .....	22
ADVANCED .....	22
MAINTENANCE .....	23
STATUS .....	23
HELP .....	24

## WEB GUI画面へのログイン

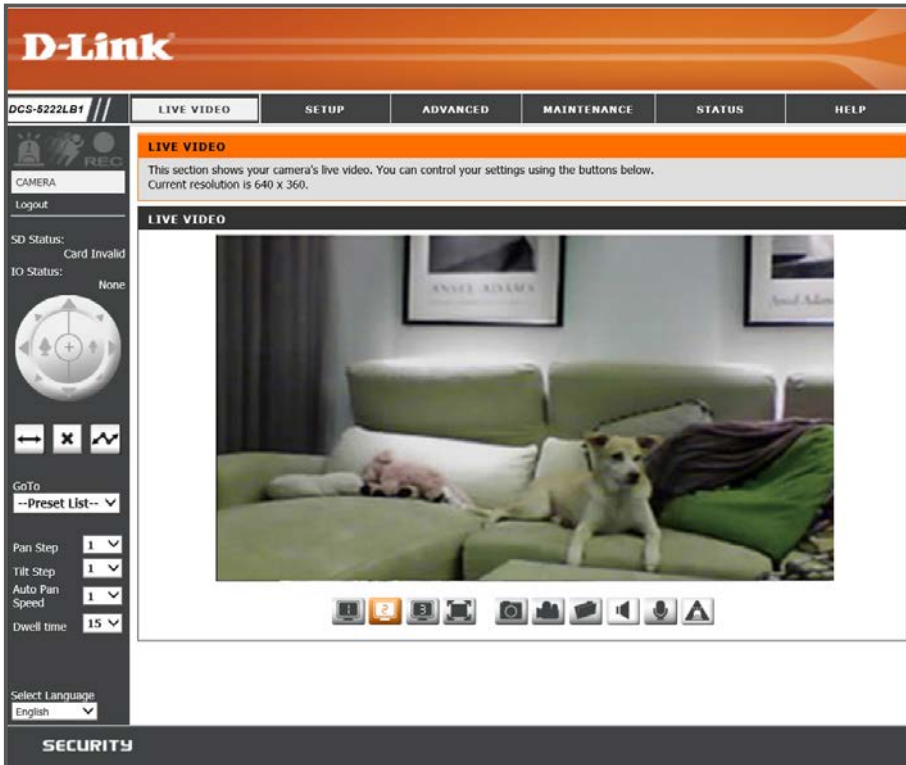
1. Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザに本製品の IP アドレスを入力します。



3. ユーザ名とパスワードを入力します。



4. 以下の画面が表示されます。



### メモ

- 本製品のIPアドレス(初期値)は「192.168.0.20/24」です。
- IPアドレス・ユーザ名・パスワードはセットアップウィザードからも設定できます。

## WEB GUI画面からのログアウト

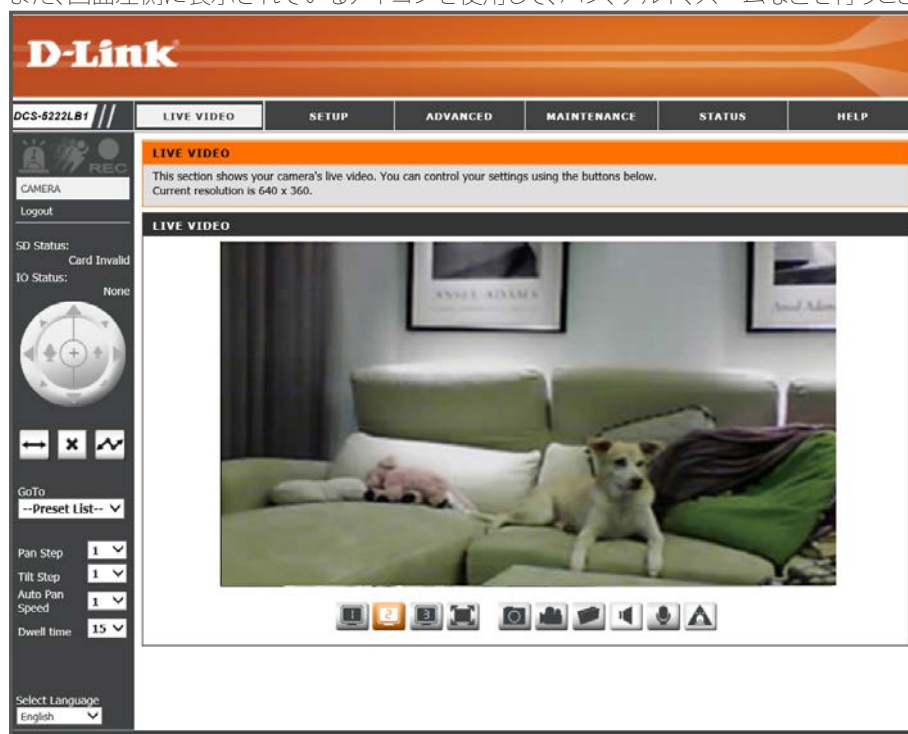
1. 画面左側のメニューにある [logout] をクリックします。
2. 以下の画面で [Logout] をクリックします。



# Web GUI画面の構成

## LIVE VIDEO

Web GUIへのログイン後に表示される画面です。現在カメラがとらえている映像が表示されます。また、画面左側に表示されているアイコンを使用して、パン、チルト、ズームなどを行うことができます。



アイコン/UI	説明
	デジタル入力が行われているときに点灯します。
	動体検知が行われているときに点灯します。
	録画が行われているときに点灯します。
	ePTZコントローラです。パン、チルト、ズームを行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>三角マーク：パン(左右に動く)とチルト(上下に動く)を行います。</li> <li>木のマーク：ズームを行います。</li> <li>+マーク：初期設定の位置に戻します。</li> </ul>
	オートパンを行います。
	実行中のオートパンまたはプリセットシーケンスの動作を停止します。
	プリセットシーケンスを実行します。 設定したプリセットリストにしたがって撮影位置を変更します。『PTZ Setup:p.39』
Go to	設定したプリセットリストを選択します。
Pan Step	パン(左右に動く)を行う幅を設定します。数値が大きいほど広い角度でパンが行われます。
Tilt Step	チルト(上下に動く)を行う幅を設定します。数値が大きいほど広い角度でチルトが行われます。
Auto Pan Speed	オートパンを行うスピードを設定します。数値が大きいほどスピードが速くなります。
Dwell Time	プリセットシーケンスを実行した際に1つのプリセットポジションに停留する時間(秒)を選択します。
Select Language	Web GUIの表示言語を選択します。
	プロファイルを選択します。各プロファイルのフレームサイズなどの設定は、Audio and Video画面で行います。『Audio and Video:p.37』
	画像を全画面表示にします。
	スナップショットを作成します。
	録画を行います。
	ストレージフォルダを指定します。
	カメラの内蔵マイクからPCのスピーカーへ音声を送信します。
	PCに接続されたマイクからカメラに接続されたスピーカーへ音声を送信します。
	デジタル入力を行います。

## ■ SETUP

ネットワーク設定やプロファイル設定など、カメラの機能の基本的な設定を行います。  
[『Set Up \(基本設定\): p.25 』](#)

## ■ ADVANCED

DI/DO (デジタル入力/出力) やICR(IR Cut Removable)機能、アクセスリストによるセキュリティの設定など、カメラの詳細設定を行います。  
[『Advanced \(詳細設定\): p.51 』](#)

## MAINTENANCE

ユーザアカウントの設定やファームウェアアップグレードなど、製品のメンテナンスを行います。  
『Maintenance(メンテナンス):p.56』

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Admin  
System  
Firmware Upgrade  
Logout

**ADMIN**  
Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings.

**ADMIN PASSWORD SETTING**  
New Password  32 characters maximum  
Retype Password

**ADD USER ACCOUNT**  
User Name  20 users maximum  
New Password  32 characters maximum  
Retype Password

**USER LIST**  
User Name  -- User list --

**DEVICE SETTING**  
IP Camera Name  63 characters maximum  
 Enable OSD  
Label  30 characters maximum  
Show Time   
  
Calibration Device

**LED**  
LED  On  Off

**PRIVACY CONTROL**  
 Privacy Control  
 Privacy Off  
 Privacy On

**Helpful Hints..**  
Enabling OSD, the IP camera name and time will be displayed on the video screen for the user.  
For security purposes, it is recommended that you change the password for your administrator account. Be sure to write down the new password to avoid having to reset the IP camera in the event that it is forgotten.  
**LED:** In the rear panel of your camera there is a LED beside the network adapter. ON: The LED will flash a light to indicate if the network is working or not. OFF: No light will show, forth option is turn off.  
**Privacy Control:** Allow you to configure if camera could enter Privacy mode or not.  
**Privacy Off:** Camera is in a normal operating mode.  
**Privacy On:** Camera is in a Privacy mode. Live Video, Video Clip, Snapshot and SD Recording will be turned off.

## STATUS

デバイス情報およびログの表示を行います。  
『Status(ステータス):p.61』

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Device Info  
Log  
Logout

**DEVICE INFO**  
All of your network connection details are displayed on this page. The firmware version is also displayed here.

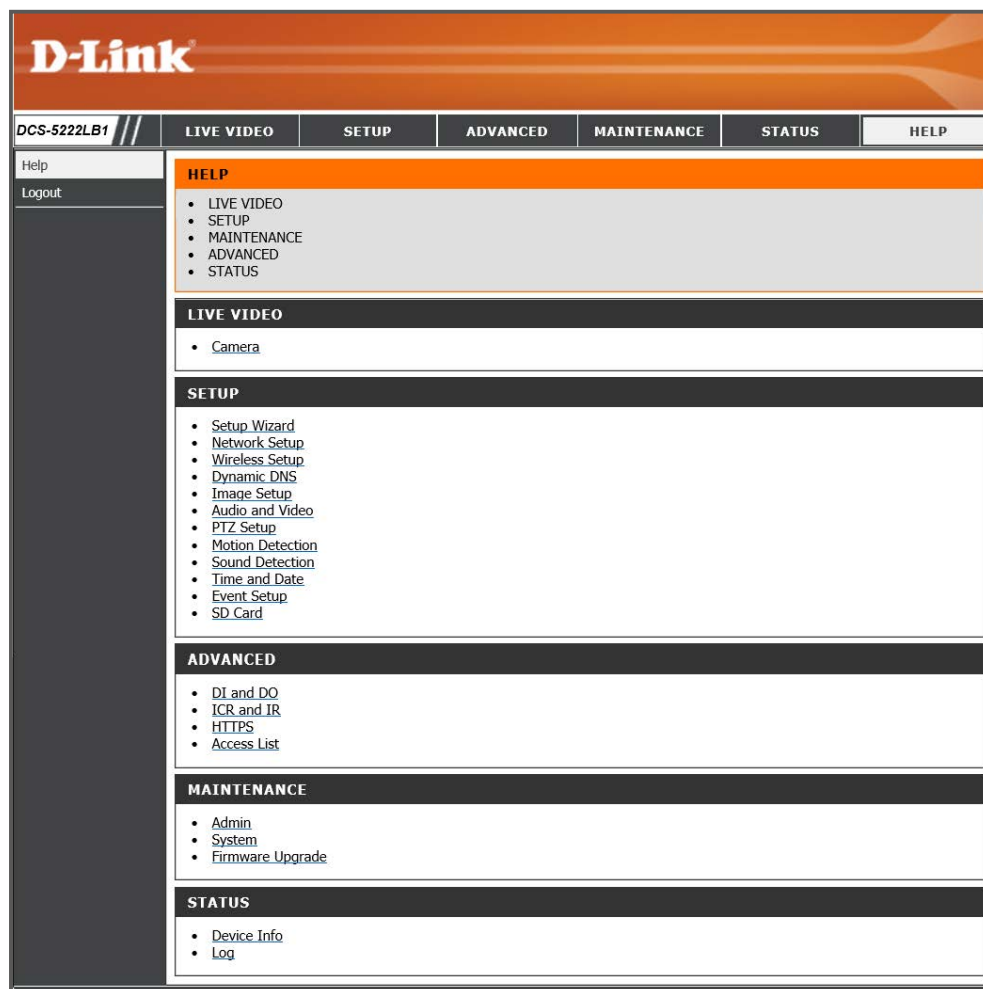
**INFORMATION**

IP Camera Name	DCS-5222LB1
Time & Date	Wed Jan 14 17:02:47 2015
Firmware Version	2.01.05
MCU Version	20140207
MAC Address	B0:C5:54:0E:AB:28
IP Address	172.16.1.70
IP Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	172.16.1.1
Primary DNS	172.16.1.2
Secondary DNS	172.16.1.3
PPPoE	Disable
DDNS	Disable
Agent Version	2.0.17-b59

**Helpful Hints..**  
This page displays all the information about the IP camera and network settings.

## HELP

Web GUI画面上部の[Help]をクリックすると、以下の画面が表示されます。  
確認したい項目をクリックし、説明を参照してください。



DCS-5222LB1		LIVE VIDEO	SETUP	ADVANCED	MAINTENANCE	STATUS	HELP
Help		<b>HELP</b>					
Logout		<ul style="list-style-type: none"><li>LIVE VIDEO</li><li>SETUP</li><li>MAINTENANCE</li><li>ADVANCED</li><li>STATUS</li></ul>					
		<b>LIVE VIDEO</b>					
		<ul style="list-style-type: none"><li>Camera</li></ul>					
		<b>SETUP</b>					
		<ul style="list-style-type: none"><li>Setup Wizard</li><li>Network Setup</li><li>Wireless Setup</li><li>Dynamic DNS</li><li>Image Setup</li><li>Audio and Video</li><li>PTZ Setup</li><li>Motion Detection</li><li>Sound Detection</li><li>Time and Date</li><li>Event Setup</li><li>SD Card</li></ul>					
		<b>ADVANCED</b>					
		<ul style="list-style-type: none"><li>DI and DO</li><li>ICR and IR</li><li>HTTPS</li><li>Access List</li></ul>					
		<b>MAINTENANCE</b>					
		<ul style="list-style-type: none"><li>Admin</li><li>System</li><li>Firmware Upgrade</li></ul>					
		<b>STATUS</b>					
		<ul style="list-style-type: none"><li>Device Info</li><li>Log</li></ul>					



---

# Set Up (基本設定)

ネットワーク設定やプロファイルの設定、動体検知設定など、カメラの機能設定を行います。

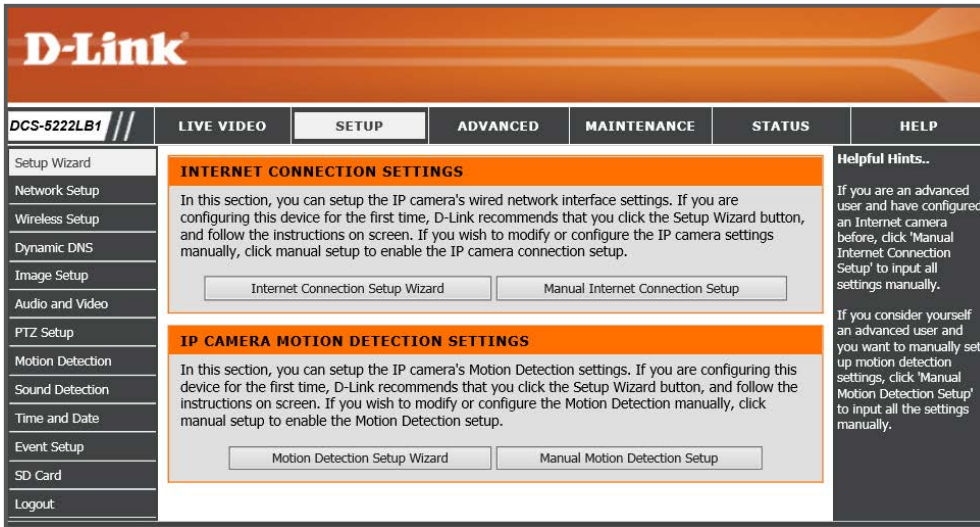
# 4

■ Setup Wizard .....	26
インターネット接続設定 .....	26
IPカメラ動体検知設定 .....	28
■ Network Setup .....	30
LAN設定 .....	31
PPPoE設定 .....	31
HTTP設定 .....	31
HTTPS設定 .....	32
RTSP設定 .....	32
CoS設定 .....	32
QoS設定 .....	32
IPv6設定 .....	33
Multicast設定 .....	33
■ Wireless Setup .....	34
■ Dynamic DNS .....	35
■ Image Setup .....	36
■ Audio and Video .....	37
■ PTZ Setup .....	39
■ Motion Detection .....	41
■ Sound Detection .....	42
■ Time and Date .....	43
■ Event Setup .....	44
SERVER(サーバ): .....	44
MEDIA(メディア): .....	44
EVENT(イベント): .....	44
RECORDING(録画) .....	44
SERVER .....	45
MEDIA .....	46
EVENT .....	47
RECORDING .....	49
■ SD Card .....	50

# Setup Wizard

[SETUP] > [Setup Wizard]

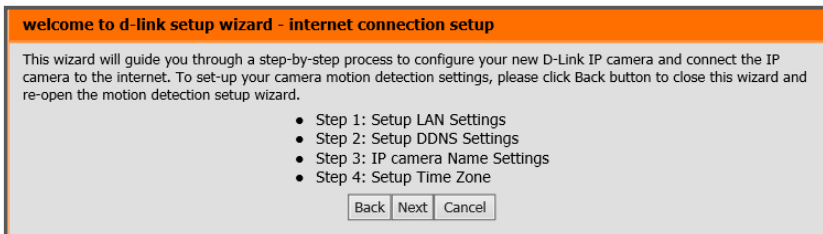
インターネット接続設定と動体検知設定を行います。ウィザードによる設定または手動設定を選択することができます。最初に設定を行う場合は、ウィザードの使用をおすすめします。



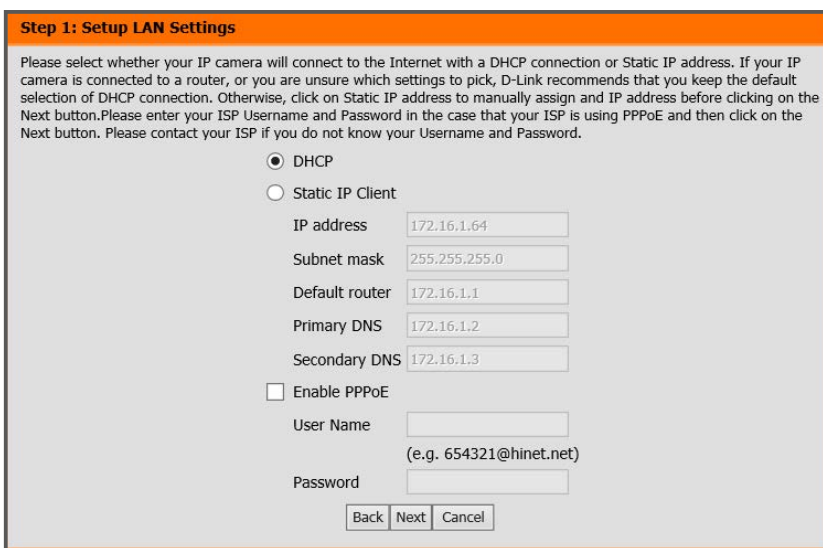
## ■ インターネット接続設定

### ◆ ウィザードで設定を行う場合

1. [Internet Connection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. LAN の設定を行った後、[Next] をクリックします。



- DHCP : DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
- Static IP Client : 固定のIPアドレスを設定します。
- Enable PPPoE : PPPoEを有効にします。有効にした場合はユーザ名とパスワードを入力します。

## 4. ダイナミック DNS の設定を行った後、[Next] をクリックします。

**Step 2: Setup DDNS Settings**

If you have a Dynamic DNS account and would like the IP camera to update your IP address automatically, enable DDNS and enter in your host information below. Please click on the Next button to continue.

Enable DDNS

Server Address  <<

Host Name

User Name

Password

Verify Password

Timeout  (hours)

- Enable DDNS: ダイナミックDNSを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。
- Server Address: サーバ名を入力します。
- Host Name: ホスト名を入力します。
- User Name: ユーザ名を入力します。
- Password: パスワードを入力します。
- Verify Password: 確認のため再度パスワードを入力します。
- Timeout: タイムアウトする時間を入力します。

## 5. IP カメラの名称を設定した後、[Next] をクリックします。

**Step 3: IP camera Name Settings**

D-Link recommends that you rename your IP camera for easy accessibility. You can then identify and connect to your IP camera via this name. Please assign a name of your choice before clicking on the Next button.

IP camera Name

## 6. タイムゾーンの設定を行った後、[Next] をクリックします。

**Step 4: Setup Time Zone**

Please configure the correct time to ensure that all events are triggered, captured and scheduled at the correct time and day and then click on the Next button.

Time Zone

Enable Daylight Saving

- Time Zone: タイムゾーンを選択します。
- Enable Daylight Saving: サマータイムを有効にします。

## 7. 設定内容を確認 → [Apply] をクリックし、設定を適用します。

**Step 5: Setup complete**

Below is a summary of your IP camera settings. Click on the Back button to review or modify settings or click on the Apply button if all settings are correct. It is recommended to note down these settings in order to access your IP camera on the network or via your web browser.

IP Address	DHCP
IP camera Name	DCS-5222LB
Time Zone	(UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo
DDNS	Disable
PPPoE	Disable

## ◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Internet Connection Setup]をクリック → Network Setup画面で設定を行います。

メモ

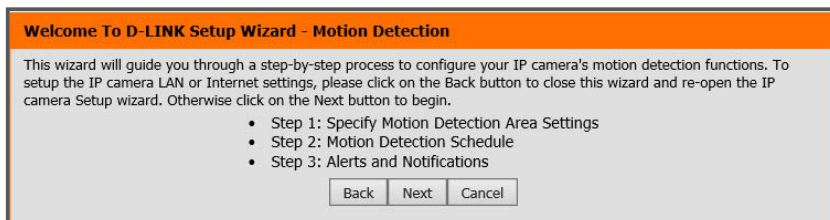
Network Setup画面の設定内容については、『Network Setup:p.30』を参照してください。

## ■ IPカメラ動体検知設定

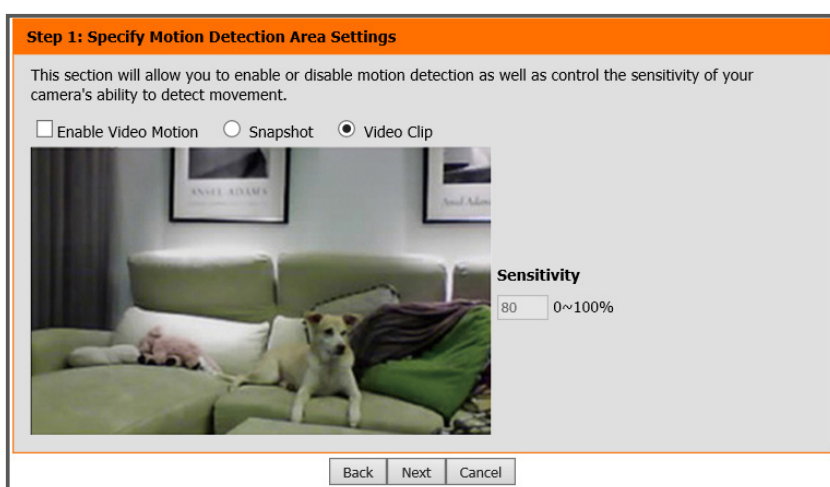
### ◆ ウィザードで設定を行う場合

[Motion Detection Setup Wizard]をクリックし、画面の説明にしがいます。

1. [Motion Detection Setup Wizard] をクリックします。
2. [Next] をクリックします。



3. 動体検知の有効 / 無効と検知の感度を設定→ [Next] をクリックします。

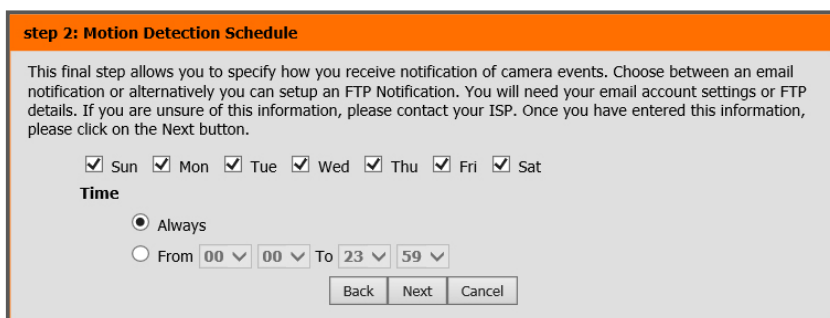


- Enable Video Motion : 動体検知を有効にします。
- Snapshot : スナップショットを作成します。
- Video Clip : ビデオクリップを作成します。
- Sensitivity : 動体検知の感度を設定します。数値が大きいほど感度がよくなり、動体が検知されやすくなります。
- Percentage: 設定した検知エリアで動体の占める割合を設定します。数値が小さいほど動体が検知されやすくなります。

### メモ

動体検知を有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。  
左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。  
画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore]の動作を選択できます。

4. 動体検知を行うスケジュール設定→ [Next] をクリックします。



## 5. 通知の設定を行った後、[Next] をクリックします。

**Step 3: Alerts and Notification**

This final step allows you to specify how you receive notification of camera events. Choose between an email notification or alternatively you can setup an FTP Notification. You will need your email account settings or FTP details. If you are unsure of this information, please contact your ISP. Once you have entered this information, please click on the Next button.

Do not notify me  
 Email

Sender email address   
 Recipient email address   
 Server address   
 User name   
 Password   
 Port

FTP

Server address   
 Port   
 User name   
 Password   
 Remote folder name

Back Next Cancel

- Do not notify me : 通知を行いません。
- Snapshot : E-Mailによる通知を行います。
- FTP : FTPサーバによる通知を行います。

## 6. 設定内容を確認→ [Apply] をクリックし、設定を適用します。

**Step 4: Setup Complete**

You have completed your IP camera setup. Please click the Back button if you want to review or modify your settings or click on the Apply button to save and apply your settings.

Motion Detection : Disable  
 EVENT : Video Clip  
 Schedule Day : Sun ,Mon ,Tue ,Wed ,Thu ,Fri ,Sat ,  
 Schedule Time : Always  
 Alerts and Notification : Do not notify me

Back Apply Cancel

## ◆ 手動で設定を行う場合

[Manual Motion Detection Setup]をクリック → Motion Detection画面で設定を行います。

メモ

Motion Detection画面の設定内容については、『[Motion Detection:p.41](#)』を参照してください。

# Network Setup

[\[SETUP\] > \[Network Setup\]](#)

本製品のIPアドレスなど、ネットワークの設定を行います。  
設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**D-Link**  
DCS-4222L01

**NETWORK SETUP**  
You can configure your LAN and Internet settings here.

Save Settings Don't Save Settings

**LAN SETTINGS**

DHCP  
 Static IP Client

IP address: 172.16.1.255  
Subnet mask: 255.255.255.0  
Default router: 172.16.1.1  
Primary DNS: 172.16.1.1  
Secondary DNS: 172.16.1.2

Enable UPnP presentation  
 Enable UPnP port forwarding  
Forwarding Port: 1234  
Forwarding Status: UPnP forwarding is inactive

**PPPoE SETTINGS**

Enable  Disable

User Name: \_\_\_\_\_  
Password: \_\_\_\_\_  
Confirm password: \_\_\_\_\_  
PPPoE Status: PPPoE is inactive.

**HTTP**

HTTP port: 80  
Access name for stream1: video1.mjpg  
Access name for stream2: video2.mjpg  
Access name for stream3: video3.mjpg

**HTTPS**

HTTPS port: 443

**RTSP**

Authentication: Digest  
RTSP port: 554  
Access name for stream1: live1.asdp  
Access name for stream2: live2.asdp  
Access name for stream3: live3.asdp

**COS SETTINGS**

Enable CoS

VLAN ID: 1 [1-4095]  
Live video: 0  
Live audio: 0  
Event/Alarm Management: 0

**QoS SETTINGS**

Enable QoS

Live video: 0  
Live audio: 0  
Event/Alarm Management: 0

**IPV6**

Enable IPv6  
IPv6 Information  
 Manually setup the IP address  
Optional IP address / Prefix length: \_\_\_\_\_ / 64  
Optional default router: \_\_\_\_\_  
Optional primary DNS: \_\_\_\_\_

**MULTICAST**

Enable multicast for stream 1  
Multicast group address: 224.0.0.1  
Multicast video port: 8050  
Multicast RTCP video port: 8051  
Multicast audio port: 8052  
Multicast RTCP audio port: 8053  
Multicast TTL [1-255]: 64

Enable multicast for stream 2  
Multicast group address: 224.0.0.2  
Multicast video port: 8054  
Multicast RTCP video port: 8055  
Multicast audio port: 8056  
Multicast RTCP audio port: 8057  
Multicast TTL [1-255]: 64

Enable multicast for stream 3  
Multicast group address: 224.0.0.3  
Multicast video port: 8058  
Multicast RTCP video port: 8059  
Multicast audio port: 8060  
Multicast RTCP audio port: 8061  
Multicast TTL [1-255]: 64

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints.**

Select DHCP Connection if you are running a DHCP server on your network and would like an IP address assigned to your IP camera automatically.

**UPnP:** Enabling UPnP settings will allow you to configure your IP camera as an UPnP device in the network.

**PPPoE Setting:** If you use the IP camera to connect directly to the Internet, you will need to enter the username and password, which were given to you when you set up your account with your Internet Service Provider. If the camera is behind a router or a gateway, you do not need to configure this setting.

**HTTP:** HTTP Port is the port you allocate in order to connect to the IP camera via a standard web browser.

**HTTPS:** HTTPS Port is a IP camera connects it with a PC via a secure web browser.

**RTSP:** RTSP Port is the port you allocate in order to connect to a IP camera by using streaming mobile device (S), such as a mobile phone or PDA.

**CoS (Class of Service):** Coarsely-grained traffic control based on the DSCP protocol. Class of Service technologies do not guarantee a level of service in terms of bandwidth and delivery time; they offer a "best-effort".

**QoS (Quality of Service):** Finely-grained traffic control, a resource reservation control mechanism. Quality of service guarantees are important if the network capacity is insufficient, especially for real-time streaming multimedia applications.

**Enable IPv6:** Select this option and click Save to enable IPv6 setting. Please note that this only works if your network environment and hardware equipment support IPv6. The browser should be Microsoft® Internet Explorer 6.5, Mozilla Firefox 3.0 or above. When IPv6 is enabled, by default, the Network Camera will listen to router advertisements and be assigned a link-local IPv6 address accordingly.

**IPv6 Information:** Click this button to obtain the IPv6 information. If your IPv6 setting are successful, the IPv6 address list will be listed in the pop-up window. Please follow the steps below to link to an IPv6 address:  
1) Open your web browser.  
2) Enter the help/information of link-local IPv6 address in the address bar of your web browser.  
3) Press Enter on the keyboard or click Refresh button to refresh the webpage.

**Manually setup the IP address:** Select this option to manually configure IPv6 setting if your network environment does not have DHCPv6 server and advertisements-enabled router.

**Multicast:** Click the items to display the detailed configuration information. Select the Always multicast option to enable multicast for stream 1-3.

**Unicast video:** Transmission delivers a stream through point-to-point transmission; multicast, on the other hand, sends a stream to the multicast group address and allows multiple clients to acquire the stream at the same time by requesting a copy from the multicast group address. Therefore, enabling multicast can effectively save network bandwidth.

**Multicast RTP video, audio port/Multicast RTCP video, audio port:** The ports can be changed to values between 1024 and 65534. The multicast RTP port must be an even number and the multicast RTCP port number is the multicast RTP port number plus one, and this is always odd. When the multicast RTP port changes, the multicast RTCP port will change accordingly. Multicast TTL [1-255]: The multicast TTL (Time To Live) is the value that tells the router the range a packet can be forwarded.

## ● LAN設定

LAN SETTINGS	
<input checked="" type="radio"/> DHCP	
<input type="radio"/> Static IP Client	
IP address	172.16.1.75
Subnet mask	255.255.255.0
Default router	172.16.1.1
Primary DNS	172.16.1.2
Secondary DNS	172.16.1.3
<input checked="" type="checkbox"/> Enable UPnP presentation	
<input type="checkbox"/> Enable UPnP port forwarding	
Forwarding Port	1024 <input type="button" value="Test"/>
Forwarding Status	UPnP forwarding is inactive

◆ DHCP	DHCPサーバを使用してIPアドレスを自動的に割り当てます。
◆ Static IP Client	<p>固定のIPアドレスを割り当てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [IP address]: IPアドレスを入力します。</li> <li>• [Subnet mask]: サブネットマスクを入力します。</li> <li>• [Default router]: デフォルトルータIPアドレスを入力します。</li> <li>• [Primary DNS]: プライマリDNSサーバを入力します。</li> <li>• [Secondary DNS]: セカンダリDNSサーバを入力します。</li> </ul>
◆ Enable UPnP presentation	有効にすると、本製品がUPnPデバイスとして機能します。
◆ Enable UPnP port forwarding	<p>UPnPポートフォワーディングを有効にします。</p> <p>有効にした場合はポート番号を入力します。[Test]をクリックするとテストを実行します。本製品がUPnP対応のネットワーク上で自動的にルータにポートフォワーディングエントリを追加することができます。</p>

## ● PPPoE設定

PPPOE SETTINGS	
<input type="radio"/> Enable <input checked="" type="radio"/> Disable	
User Name	<input type="text"/>
Password	<input type="text"/>
Confirm password	<input type="text"/>
PPPoE Status	PPPoE is inactive.

◆ Enable/Disable	<p>PPPoE設定を[Enable](有効)または[Disable](無効)にします。</p> <p>有効にした場合は以下の項目を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [User Name]: ユーザ名を入力します。</li> <li>• [Password]: パスワードを入力します。</li> <li>• [Confirm password]: 確認のため再度パスワードを入力します。</li> <li>• [PPPoE Status]: PPPoEのステータスが表示されます。</li> </ul>
------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ● HTTP設定

HTTP	
HTTP port	80
Access name for stream1	video1.mjpg
Access name for stream2	video2.mjpg
Access name for stream3	video3.mjpg

◆ HTTP port	HTTPポート番号を設定します。(初期値:80)
◆ Access name for stream1-3	<p>ストリームのアクセス名を設定します。</p> <p>初期値は「video#.mjpg」(#はストリームの番号)です。</p>

## 4. Set Up (基本設定)

### ● HTTPS設定

HTTPS	
HTTPS port	<input type="text" value="443"/>

◆ **HTTPS port** HTTPSポート番号を設定します。(初期値:443)

### ● RTSP設定

RTSP	
Authentication	<input type="text" value="Digest"/>
RTSP port	<input type="text" value="554"/>
Access name for stream1	<input type="text" value="live1.sdp"/>
Access name for stream2	<input type="text" value="live2.sdp"/>
Access name for stream3	<input type="text" value="live3.sdp"/>

◆ **Authentication** 認証方法を選択します。  
選択肢:  
• [Digest] (ダイジェスト認証)  
• [Basic] (ベーシック認証)  
• [Disable] (無効)

◆ **RTSP port** RTSPポート番号を設定します。(初期値:554)

◆ **Access name for stream1-3** ストリームのアクセス名を設定します。  
初期値は「video#.mjpg」(#はストリームの番号)です。

### ● CoS設定

COS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable CoS	
VLAN ID	<input type="text" value="1"/> [0~4095]
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable CoS** CoS (Class of Service) を有効にします。  
• [VLAN ID]: VLAN IDを入力します。  
• [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。  
• [Live audio]: 音声の優先度を設定します。  
• [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。  
• [Management]: マネジメントの優先度を設定します。

### ● QoS設定

QOS SETTINGS	
<input type="checkbox"/> Enable QoS	
Live video	<input type="text" value="0"/>
Live audio	<input type="text" value="0"/>
Event/Alarm	<input type="text" value="0"/>
Management	<input type="text" value="0"/>

◆ **Enable QoS** QoS (Quality of Service) を有効にします。  
• [Live video]: ライブビデオの優先度を設定します。  
• [Live audio]: 音声の優先度を設定します。  
• [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。  
• [Management]: マネジメントの優先度を設定します。



## ● IPv6設定

◆ <b>Enable IPv6</b>	CoSを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [VLAN ID]: VLAN IDを入力します。</li> <li>• [Live Video &amp; Audio]: ライブビデオ/音声の優先度を設定します。</li> <li>• [Event/Alarm]: イベント/アラームの優先度を設定します。</li> <li>• [Management]: マネジメントの優先度を設定します。</li> </ul>
◆ <b>IPv6 Information</b>	IPv6の情報を表示します。
◆ <b>Manually setup the IP address</b>	IPv6アドレスの手動設定を有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Optional IP address / Prefix length]</li> <li>• [Optional Default router]</li> <li>• [Optional primary DNS]</li> </ul>

## ● Multicast設定

◆ <b>Enable multicast for stream 1-3</b>	マルチキャストストリームを有効にします。有効にした場合は以下の項目を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Multicast group address]</li> <li>• [Multicast video port]</li> <li>• [Multicast RTCP video port]</li> <li>• [Multicast audio port]</li> <li>• [Multicast RTCP audio port]</li> <li>• [Multicast TTL [1~255]]</li> </ul>
------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

# Wireless Setup

[\[SETUP\] > \[Wireless Setup\]](#)

ワイヤレス接続の設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

The screenshot shows the D-Link web interface for wireless configuration. The main content area is titled 'WIRELESS CONFIGURATION' and contains the following settings:

- Enable Wireless:** A checkbox that is currently unchecked.
- Site Survey:** A button labeled 'Rescan' next to a dropdown menu showing '===SSID List==='.
- SSID:** A text input field containing 'default'.
- Wireless Mode:** A dropdown menu set to 'Infrastructure'.
- Channel:** A dropdown menu set to 'Auto'.
- Authentication:** A dropdown menu set to 'Open'.
- Encryption:** A dropdown menu set to 'Disable'.
- Default Key:** A dropdown menu set to '1'.
- Key 1-4:** Four password input fields, each containing four asterisks.

Below the settings are two buttons: 'Save Settings' and 'Don't Save Settings'. A red note at the bottom of the configuration area states: '(5 or 13 ASCII, 10 or 26 HEX characters)'. On the right side, there is a 'Helpful Hints..' section with text explaining SSID and Authentication options.

## WIRELESS CONFIGURATION

◆ <b>Enable Wireless</b>	ワイヤレス接続を有効にします。
◆ <b>Site Survey</b>	[Rescan]をクリックしてサイトサーベイを実行し、接続するアクセスポイントまたは無線ルータを検索します。サイトサーベイ実行後、ドロップダウンリストから、接続するSSIDを選択します。
◆ <b>Wireless Mode</b>	ワイヤレス接続のモードを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Infrastructure]: インフラストラクチャーモードで接続します。</li> <li>• [Ad-Hoc]: アドホックモードで接続します。</li> </ul>
◆ <b>Channel</b>	アドホックモードを選択した場合に、チャンネルを選択します。インフラストラクチャーモードで使用する場合はチャンネルを自動的に認識するので設定する必要はありません。
◆ <b>Authentication</b>	接続の際の認証方式を選択します。
◆ <b>Encryption</b>	暗号化タイプを選択します。
◆ <b>Default Key</b>	デフォルトキーを選択します。
◆ <b>Key 1-4</b>	キーまたはパスフレーズを入力します。
◆ <b>Signal</b>	選択したSSIDのシグナルが表示されます。SSIDを選択していない場合は表示されません。

### メモ

- 画面に表示される項目は、設定内容によって一部異なります。
- アドホックモードとインフラストラクチャーモードについては、『FAQ:p.67』の該当項目を参照してください。

# Dynamic DNS

[SETUP] > [Dynamic DNS]

ダイナミックDNS (Dynamic Domain Name Server) の設定を行います。  
ダイナミックDNSは、接続のたびに変わるIPアドレスとドメインを自動的に結びつける機能です。IPアドレスが変更されても、ドメイン名を入力してIPカメラに接続することができます。接続には設定したユーザ名とパスワードが必要となります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard  
Network Setup  
Wireless Setup  
Dynamic DNS  
Image Setup  
Audio and Video  
PTZ Setup  
Motion Detection  
Sound Detection  
Time and Date  
Event Setup  
SD Card  
Logout

**DYNAMIC DNS**

The Dynamic DNS feature allows you to use a domain name that you have purchased (www.yourdomain.com) to access your IP camera with a dynamically assigned IP address. Most broadband Internet service providers assign dynamic (changing) IP addresses. By using a DDNS service, you can enter your domain name to connect to your IP camera no matter what your IP address is.

[Sign up for D-Link's Free DDNS service at www.DLinkDDNS.com.](http://www.DLinkDDNS.com)

Save Settings Don't Save Settings

**DYNAMIC DNS SETTING**

Enable DDNS

Server Address  <<

Host Name

User Name

Password

Verify Password

Timeout  (hours)

Status Inactive

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints..**

Dynamic DNS is useful if you have a DSL or Cable service provider that changes your modem IP address periodically. This will allow you to assign a website domain name to your IP camera instead of connecting through an IP address.

## DYNAMIC DNS SETTING

◆ Enable DDNS	ダイナミックDNSを有効にします。
◆ Server Address	ダイナミックDNSプロバイダを選択するか、手動でサーバのアドレスを入力します。
◆ Host Name	ホスト名を入力します。
◆ User Name	ユーザ名を入力します。
◆ Password	パスワードを入力します。
◆ Verify Password	確認のため再度パスワードを入力します。
◆ Timeout	タイムアウトする時間を入力します。
◆ Status	ダイナミックDNSの状態が表示されます。

# Image Setup

[SETUP] > [Image Setup]

プライバシーマスク設定および画像設定を行います。

プライバシーマスクは、撮影したくないエリアを選択してマスクする機能です。画像設定では、ホワイトバランスや露出、鮮明度の設定を行い、画質の調整をすることができます。[IMAGE SETTINGS]欄で設定した内容はすぐに反映されます。

## PRIVACY MASK AREA OF VIDEO SETTING

◆ Enable Privacy Mask Setting	プライバシーマスクを有効にします。有効にした場合は、画像上でマスクしたい部分を最大3箇所選択します。 左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。 画像内でマウスを右クリックすると、[Disable all][Enable all][Reset all]の動作を選択できます。 設定後、[Save]をクリックして設定を保存します。
-------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## IMAGE SETTING

◆ Anti Flicker	画像のちらつきを軽減します。
◆ Mirror	画像を180度水平方向に回転させます。
◆ Flip	画像を180度垂直方向に回転させます。
◆ Power Line	電源周波数(50Hz/60Hz)による画像のちらつきを除去します。
◆ White Balance	撮影環境にあわせて色調の調節を行います。 [Auto](自動) / [Outdoor](屋外) / [Indoor](屋内) / [Fluorescent](蛍光灯) / [Push Hold](プッシュホールド) プッシュホールドは、複数の色彩が画面内で動く環境に適しています。(例: ディスコボール使用時など)
◆ Exposure Mode	撮影環境に合わせた露出モードを以下から選択し、画像センサーに入る光量を調整します。 [Auto](自動) / [Indoor](屋内) / [Outdoor](屋外) / [Night](夜間) / [Moving](動体) / [Low_noise](低ノイズ) / [Customize1-3](カスタマイズ1-3) カスタマイズ設定を選択した場合は、シャッタースピードを設定します。
◆ Max Gain	最大ゲイン値を設定します。
◆ Denoise	ノイズを軽減します。
◆ Brightness	明るさを調整します。
◆ Contrast	曇天下での画質を改善します。
◆ Saturation	色の彩度を調整します。
◆ Sharpness	画像の鮮明さを調整します。
◆ Mount type	本製品の設置場所を[Desktop](デスクトップ)または[Ceiling](天井)から選択します。

# Audio and Video

[SETUP] > [Audio and Video]

ビデオプロファイルの設定と、音声の入出力設定を行います。  
設定したプロファイルはLive Video画面で選択・表示することができます。  
本製品では3つのプロファイルを設定することができます。PCやスマートフォンなど、閲覧する環境に適したサイズを設定してください。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**D-Link**

DCS-522LB1 // LIVE VIDEO **SETUP** ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard  
Network Setup  
Wireless Setup  
Dynamic DNS  
Image Setup  
Audio and Video  
PTZ Setup  
Motion Detection  
Sound Detection  
Time and Date  
Event Setup  
SD Card  
Logout

**AUDIO AND VIDEO**

This section allows you to configure the sound and video of your camera. You can configure different settings depending on whether you are viewing content from a PC or a Mobile Phone / PDA.

Save Settings Don't Save Settings

**VIDEO SETTINGS**

Aspect ratio: 16:9 **Warning: Change the aspect ratio will clear the settings of privacy mask and preset and motion detection.**

Save Default

**VIDEO PROFILE 1**

Mode: H.264  
Frame size: 1280x720  
Maximum frame rate: 25  
Video quality: Constant bit rate (2M), Fixed quality (Excellent)

**VIDEO PROFILE 2**

Mode: H.264  
Frame size: 640x360  
Maximum frame rate: 15  
Video quality: Constant bit rate (512K), Fixed quality (Excellent)

**VIDEO PROFILE 3**

Mode: H.264  
Frame size: 320x176  
Maximum frame rate: 25  
Video quality: Constant bit rate (512K), Fixed quality (Excellent)

**AUDIO SETTINGS**

Audio in off  
Audio in gain level: 26dB  
 Audio out off  
Audio out volume level: 7

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints..**

Higher frame size, frame rate and bit rate gives better video quality. At the same time, it requires more network bandwidth.

For best viewing results on a mobile phone, we suggest setting the Frame Rate to 5fps and the Bit Rate to 64 kbps.

**Aspect Ratio:** An aspect ratio is the ratio between the width and height of an image.

**Mode:** It can be H.264, JPEG, or MPEG4. In JPEG mode, the video frames are independent; MPEG4 consumes much less network bandwidth than JPEG, and H.264 can use less bandwidth but better image quality.

**Frame Size:** 5 options exist for the sizes of the video display. It is recommended using 320x176 for mobile viewing and 1280x720 for computer viewing.

**View window area:** The viewing region of the current video stream.

**Max frame rate:** The maximum number of frames that is displayed in 1 second. 30fps is the highest video quality for this camera. In general, any frame rate above 15 fps is imperceptible to the human eye.

**Video Quality:** This limits the maximal refresh frame rate, which can be combined with the "Fixed quality" to optimize the bandwidth utilization and video quality. If the User wants to fix the bandwidth utilization regardless of the video quality, choose "Constant bit rate" and select the desired bandwidth.

**Audio Settings:** You can use the option to switch the external microphone on/off or adjust the volume.

メモ

[Frame size]および[View window area]の縦横比は以下のとおりです。

- 16:9  
1280 x 800, 1280 x 720, 800 x 450, 640 x 360, 480 x 270, 320 x 176
- 4:3  
1024 x 768, 800 x 600, 640 x 480, 480 x 360, 320 x 240

VIDEO SETTINGS	
◆ Aspect ratio	画面アスペクト比を[16:9]または[4:3]から選択し、[Save]をクリックします。 設定を初期状態に戻すには[Default]をクリックします。
VIDEO PROFILE 1-3	
◆ Mode	画像のフォーマットを以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [JPEG]: 画像をJPEG方式で圧縮します。</li> <li>• [H.264]: 画質を損なうことなくデータサイズとビットレートを抑えることが可能な効率のよい圧縮技術です。JPEGより少ない帯域で高品質な画質を保持できます。</li> </ul>
◆ Frame size	画像のフレームサイズを設定します。
◆ View window area	Live Video画面に表示するウィンドウのサイズを設定します。
◆ Maximum frame rate	最大フレームレートを設定します。 設定値が高いほどよりなめらかな動きの映像が提供されますが、多くの帯域幅を必要とします。
◆ Video quality	画質を設定します。 [Fixed Quality]を選択すると、画質を優先し、それに応じた帯域幅が使用率されます。 帯域幅使用率を固定したい場合は、[Constant bit rate]でビットレートを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Constant bit rate]: ビットレートを選択します。数値が高いほど高画質になります。</li> <li>• [Fixed Quality]: 画質を[Excellent][Good][Standard]から選択します。</li> </ul>
AUDIO SETTINGS	
◆ Audio in off	音声入力をオフにします。
◆ Audio in gain level	音声入力のゲインレベルを設定します。
◆ Audio out off	音声出力をオフにします。
◆ Audio out volume level	音声出力のボリュームレベルを設定します。

### 重要

- 画面アスペクト比の設定を変更すると、プライバシーマスク、プリセット、動体検知の設定内容がクリアされます。
- フレームレートとビットレートの数値を高く設定すると高画質の映像が提供されますが、より多くの帯域幅が消費されます。

# PTZ Setup

[SETUP] > [PTZ Setup]

カメラを向ける位置をLIVE VIDEO欄で設定し、プリセットポジションとしてカメラへ登録します。  
複数のプリセットポジションを登録し、プリセットシーケンスとして複数の位置を巡回して撮影することもできます。


**D-Link**


DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO **SETUP** ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard  
Network Setup  
Wireless Setup  
Dynamic DNS  
Image Setup  
Audio and Video  
**PTZ Setup**  
Motion Detection  
Sound Detection  
Time and Date  
Event Setup  
SD Card  
Logout

**PTZ SETUP**  
Changes to your IP camera settings are made immediately.

**LIVE VIDEO**





Pan Step

Tilt Step

**PRESET**

Support(0~9,A~Z,a~z,\*./\_)

Preset  Name

Preset List

Choose  as Home position.

**AUTO PAN**

Speed

**PRESET SEQUENCE**

Preset List :




Dwell time :

**Helpful Hints..**

**Auto Pan:** This function is to set camera's axis in horizontal view.

**Cruise:** This is a route formed with manual operation, through adjusting pan, tilt position and zoom parameters, which can be stored and recalled to execute repeatedly.

**Home Function:** The item is used to enable or disable the HOME function.

LIVE VIDEO	
◆ Pan Step	パン(左右に動く)を行う幅を設定します。数値が大きいほど広い角度でパンが行われます。
◆ Tilt Step	チルト(上下に動く)を行う幅を設定します。数値が大きいほど広い角度でチルトが行われます。
	ePTZコントローラです。パン、チルト、ズームを行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角マーク:パン(左右に動く)とチルト(上下に動く)を行います。</li> <li>・木のマーク:ズームを行います。</li> <li>・+マーク:初期設定の位置に戻します。</li> </ul>
PRESET	
◆ Preset	プリセットを選択します。
◆ Name	プリセット名を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Add]: プリセット名を登録します。</li> <li>・ [Rename]: プリセット名を変更します。</li> </ul>
◆ Preset List	登録したプリセットを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Go To]: 選択したプリセットポジションにカメラ位置を移動します。</li> <li>・ [Remove]: プリセットを削除します。</li> </ul>
◆ Choose as Home position	選択したプリセットをホーム位置に設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Set]: ホーム位置に設定します。</li> <li>・ [Default]: 初期設定に戻します。</li> </ul>
Auto Pan	
◆ Speed	オートパンを行うスピードを設定します。数値が大きいほどスピードが速くなります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Test]: オートパンのテストを行います。</li> <li>・ [Stop]: テストを中止します。</li> </ul>
PRESET SEQUENCE	
◆ Preset List	登録したプリセットから、プリセットシーケンスに追加するものを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Add]: プリセットをプリセットシーケンスに登録します。</li> </ul>
◆ Dwell time	1つのプリセットポジションにとどまる時間を3-30秒の範囲で入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ [Update]: 停留時間を更新します。</li> </ul>
	シーケンスに登録したプリセットの順序を入れ替えます。
	プリセットシーケンスに登録したプリセットを削除します。



# Motion Detection

[SETUP] > [Motion Detection]

動体検知とは、映像内の動きを検知する機能です。  
検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することもできます。

Motion Detection画面では、動体検知の有効/無効を設定し、検知を行うエリアと感度を設定します。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**MOTION DECTION**

In order to use motion detection, you must first check the checkboxes, then draw the areas you want to monitor for motion.

Save Settings Don't Save Settings

**LIVE VIDEO**

Enable Video Motion  
 Enable PIR

**Sensitivity**  
85 0~100%

**Percentage**  
5 0~100%

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints..**

**Enable Video Motion:** Select this option to enable motion detection for your camera.

**Sensitivity:** Sets the sensitivity for motion detection. The text field indicate the level of sensitivity for motion detection. As motion is detected the level will rise depending on the frequency of the movement.

**Percentage:** Adjusting the percentage allows you to set a requirement on how much of the motion window must be filled by movement. Example: If you set this to 50%, then the selected window must be half filled by a moving object before it triggers motion detection.

**Enable PIR:** When this option is selected, use PIR (passive infrared) to detect motion.

## LIVE VIDEO

◆ <b>Enable Video Motion</b>	動体検知を有効にします。 有効にした場合は、下の画面で検知を行うエリアを選択します。
◆ <b>Enable PIR</b>	PIR (Passive Infrared Ray) センサを有効にします。 PIRセンサは、周りにある物体からの赤外線放射の変化を感知する事によって動きを検出する装置です。 有効にした場合は、下の画面で検知を行うエリアを選択します。
◆ <b>Sensitivity</b>	動体検知を行う感度を0-100%のあいだで設定します。 設定した数値が大きいほど感度がよくなり、動体が検出されやすくなります。
◆ <b>Percentage</b>	設定した検知エリアで動体の占める割合を設定します。 数値が小さいほど動体が検出されやすくなります。

## メモ

- 動体検知またはPIRを有効にした場合は、画像内で動体検知を行うエリアを選択してください。  
左クリックしながらマウスを移動させると、エリアを選択できます。  
画像内でマウスを右クリックすると、[Select All][Clear All][Restore]の動作を選択できます。
- 動体を検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することができます。  
詳細および設定方法については『Event Setup:p.44』を参照してください。

# Sound Detection

[SETUP] > [Sound Detection]

音声検知の有効/無効を設定し、検知を行うレベルとスケジュールを設定します。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

## SOUNDS DETECTION SETTINGS

◆ Sound Detection	チェックをいれて音声検知を有効にします。
◆ Detection Level	音声検知を行うレベルを50-90から選択します。(単位: db) 設定値が小さいほど、小さい音を検知することができます。

### メモ

- 検知状況は画面下部の表に表示されます。
- 音声を検知した場合に録画を行うなどのイベントを設定することができます。  
詳細および設定方法については『[Event Setup:p.44](#)』を参照してください。

# Time and Date

[SETUP] > [Time and Date]

本製品の日時設定、およびサマータイムの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**TIME AND DATE**

You can set the current time for the IP camera.

Save Settings Don't Save Settings

**TIME CONFIGURATION**

Time Zone: (UTC+09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo

Enable Daylight Saving

Auto Daylight Saving

Set date and time manually

Offset: +2:00

	Month	Week	Day of week	Hour	Minutes
Start time	5	1	Sunday	00	00
End time	10	1	Sunday	00	00

**AUTOMATIC TIME CONFIGURATION**

Synchronize with NTP Server

NTP Server: ntp.dlink.com.tw << Select NTP Server

**SET DATE AND TIME MANUALLY**

Set date and time manually

Year	2015	Month	1	Day	14
Hour	12	Minute	41	Second	21

Copy Your Computer's Time Settings

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints...**

Good timekeeping is important for accurate logs and scheduled firewall rules.

**Time Zone:** Select your time zone from the drop-down menu.

**Enable Daylight Saving:** Select this to enable the daylight saving time.

**Auto Daylight Saving:** When you select it, the clock is automatically adjusted according to the daylight saving time of the selected time zone.

**Offset:** Select the time offset, if your location observes daylight saving time.

**Synchronize with NTP Server:** With the option selected, the camera will synchronize the time settings with the NTP server over the Internet whenever the camera starts up. If the timeserver cannot be reached, no time settings will be applied.

**NTP Server:** Network Time Protocol (NTP) synchronizes the IP camera with an Internet time server. Choose the one that is closest to your location.

**Copy Your Computer's Time Settings:** This will synchronize the time information from your PC.

## TIME CONFIGURATION

◆ Time Zone	お使いの地域に合わせてタイムゾーンを設定します。
◆ Enable Daylight Saving	サマータイムを有効にします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Auto Daylight Saving]: 自動でサマータイムを実行します。</li> <li>• [Set date and time manually]: 以下の項目を入力し、手動でサマータイムを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- [offset]: サマータイムの実施により調整する時間を選択します。</li> <li>- [Start Time]: サマータイムを開始する日時を選択します。</li> <li>- [End Time]: サマータイムを終了する日時を選択します。</li> </ul> </li> </ul>

## AUTOMATIC TIME CONFIGURATION

◆ Synchronize with NTP Server	NTPサーバと同期して時間設定を行います。 有効にした場合は同期するNTPサーバを設定してください。
-------------------------------	-------------------------------------------------------

## SET DATE AND TIME MANUALLY

◆ Set date and time manually	手動で日時を設定します。 有効にした場合は、日時を選択してください。
◆ Copy Your Computer's Time Settings	お使いのコンピュータに設定されている日時をコピーします。

# Event Setup

[\[SETUP\] > \[Event Setup\]](#)

イベントの発生条件とイベントの内容を設定します。

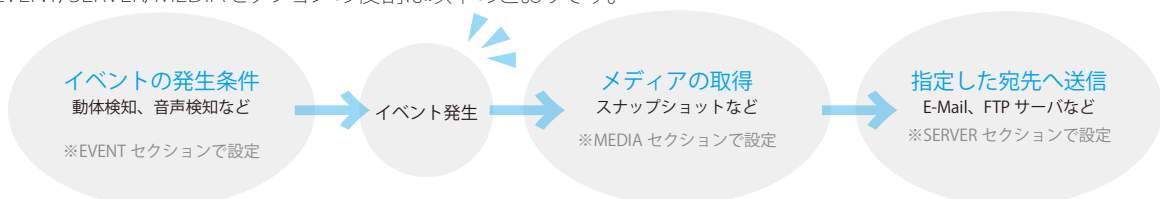
例:「動体検知が発生」(イベントの発生条件)した場合には、「FTPサーバへ画像を送信する」(イベントの内容)

以下の4つのセクションで設定を行います。「Add」をクリックすると各セクションの設定ウィンドウが表示されます。

- **SERVER(サーバ):**  
イベントが発生した際に、取得した画像・ビデオクリップなどのメディアを送信する宛先を設定します。
- **MEDIA(メディア):**  
イベントが発生した際に、どのメディアで記録を行うかを設定します。
- **EVENT(イベント):**  
イベントの発生条件(動体検知、音声検知など)を設定します。  
ここで設定した動作が発生すると、MEDIAで設定した形式の記録がSERVERで設定した宛先へ送信されます。
- **RECORDING(録画)**  
スケジュールを設定して録画を実行します。

## メモ

- 各セクションで追加できる最大設定数は以下の通りです。  
サーバ:5/メディア:5/イベント:2/録画:1
- EVENT/SERVER/MEDIAセクションの役割は以下のとおりです。



## SERVER

SERVERセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。  
異なるイベントに対して5つの異なるサーバを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**SERVER**

You can set at most 5 different servers here for different event.

Test Save Settings Don't Save Settings

**SERVER TYPE**

Server Name:

Email

Sender email address

Recipient email address

Server address

User name

Password

Port

This server requires a secure connection (StartTLS)

FTP

Server address

Port

User name

Password

Remote folder name

Passive mode

Network storage

Network storage location

(for example: \\my\_nas\disk\folder)

Workgroup

User name

Password

Primary WINS server

SD Card

Test Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints..**

**"Server name"** The unique name for server. There are four kinds of servers supported. They are email server, FTP server, HTTP server and network storage.

**Email server:**  
**"Sender email address"** The email address of the sender.  
**"Recipient email address"** The email address of the recipient.

**FTP server:**  
**"Remote folder name"** Granted folder on the external FTP server. The string must conform to that of the external FTP server. Some FTP servers cannot accept preceding slash symbol before the path without virtual path mapping. Refer to the instructions for the external FTP server for details. The folder privilege must be open for upload.  
**"Passive Mode"** Check it to enable passive mode in transmission.

**Network storage:** Only one network storage is supported.  
**"Network storage location"** The path to upload the media.  
**"Workgroup"** The workgroup for network storage.

**SD card:** Use the SD card for recording media.

### SERVER TYPE

◆ Server Name	サーバ名を入力します。
◆ Email	E-mailサーバへメディアを送信する場合に選択し、E-Mailサーバアカウントの情報を入力します。
◆ FTP	FTPサーバへメディアを送信する場合に選択し、FTPサーバアカウントの情報を入力します。
◆ Network storage	ネットワーク上のストレージへメディアを送信する場合に選択し、必要項目を入力します。
◆ SD Card	SDカードへメディアを送信する場合に選択します。

### メモ

[Test]をクリックするとテストを行うことができます。

## MEDIA

MEDIAセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。  
異なるイベントに対して5つの異なるメディアを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

MEDIA TYPE	
◆ Media name	メディア名を入力します。
◆ Snapshot	<p>イベントが発生した際にスナップショットを取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Source] プロファイルを選択します。</li> <li>• [Send XX pre-event image(s) [0~3]][Send XX post-event image(s) [1~20]] イベント発生の前後に取得するスナップショット数を設定します。</li> <li>• [File Name Prefix] 取得したスナップショットにつけるファイル名を設定します。</li> </ul>
◆ Video Clip	<p>イベントが発生した際にビデオクリップを取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Source] プロファイルを選択します。</li> <li>• [Pre-event recording: XX Second(s) [0~3]] イベント発生の前後に取得するビデオクリップの秒数を設定します。</li> <li>• [Maximum duration: XX Second(s) [1~20]] ビデオクリップを取得する最大秒数を設定します。</li> <li>• [Maximum file size: XX Kbytes [1024~20480]] 取得するビデオクリップの最大ファイルサイズを設定します。</li> <li>• [File Name Prefix] 取得したビデオクリップにつけるファイル名を設定します。</li> </ul>
◆ System Log	イベントが発生した際にシステムログを取得します。

## EVENT

EVENTセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。  
最大1つのイベントを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

# D-Link

DCS-5222LB1 //
LIVE VIDEO
SETUP
ADVANCED
MAINTENANCE
STATUS
HELP

- Setup Wizard
- Network Setup
- Wireless Setup
- Dynamic DNS
- Image Setup
- Audio and Video
- PTZ Setup
- Motion Detection
- Sound Detection
- Time and Date
- Event Setup
- SD Card
- Logout

### EVENT

You can set at most 2 events like motion detection or digital input trigger here and arrange the detection schedule at the same time.

---

### EVENT

Event name:

Enable this event

Priority: normal

Delay for  seconds before detecting next event [For motion detection and digital input and Passive Infrared sensor]

---

### TRIGGER

Video motion detection

Periodic

Trigger every  minutes

Digital input

System boot

Network lost

Passive Infrared sensor

Sound Detection

---

### EVENT SCHEDULE

Sun  Mon  Tue  Wed  Thu  Fri  Sat

Time

Always

From 00 00 To 23 59

---

### ACTION

Trigger D/O for  seconds

**Helpful Hints..**

**Priority:** The event with higher priority will be executed first.

There are five kinds of trigger supported.

**Video motion detection:** Select the windows which need to be monitored.

**Periodic:** The event is triggered in specified intervals. The unit of trigger interval is minute.

**Digital input:** The event is triggered when the DI status changed by external device.

**System boot:** The event is triggered when the system boot up.

**Network lost:** The event is triggered when the network service is not available or disconnection.

**Passive Infrared sensor:** A passive infrared sensor device (PIR) measures infrared light from passing objects in its field of view. It can be worked as a trigger of event if this function enabled.

**Sun ~ Sat:** Select the days of the week to perform the event.

**Time:** show "Always" or input the time interval.

The default action are triggering DO and storing media on SD card. If there are servers configured, the user can select them from "Server name", too.

**Trigger DO:** Check it to trigger digital output for specific seconds when event is triggered.

**Note:** Please Format SD card before use. The entire data in the SD card will be erased after formatting.

EVENT	
◆ <b>Event name</b>	イベント名を入力します。
◆ <b>Enable this event</b>	イベントを有効にします。
◆ <b>Priority</b>	イベントの優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。
◆ <b>Delay for XX seconds before detecting next event [For motion detection and digital input and Passive Infrared sensor]</b>	次のイベントを検出する前の遅延時間 (秒) を設定します。 対象となるイベントは動体検知、デジタル入力、PIRセンサです。
TRIGGER	
◆ <b>Video motion detection</b>	動体検知が行われた際にイベントが発生します。
◆ <b>Periodic</b>	定期的にイベントが発生します。 • [Trigger every XX minutes]: 発生間隔を設定します。
◆ <b>Digital input</b>	デジタル入力が行われた際にイベントが発生します。
◆ <b>System boot</b>	システムが起動した際にイベントが発生します。
◆ <b>Network lost</b>	ネットワーク接続がロストした際にイベントが発生します。
◆ <b>Passive Infrared sensor</b>	PIRセンサによる検知が行われた際にイベントが発生します。
◆ <b>Sound detection</b>	音声検知が行われた際にイベントが発生します。
EVENT SCHEDULE	
◆ <b>Sun - Sat</b>	イベントを実行する曜日を選択します。
◆ <b>Time</b>	イベントを実行する時間を設定します。 • [Always]: 常に録画を行います。 • [From][To]: イベントを実行する時間を選択します。
ACTION	
◆ <b>Trigger D/O for XX seconds</b>	イベントが発生した際に、指定した秒数のあいだデジタル出力を行います。



## RECORDING

RECORDINGセクションの[Add]をクリックし、以下の画面で設定を行います。録画を行うスケジュールや録画のデータサイズなどを設定できます。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

### RECORDING

◆ Recording entry name	録画名を入力します。
◆ Enable this recording	録画を有効にします。
◆ Priority	録画の優先度を[Highest] (最優先) [High] (優先) [Normal] (普通) から選択します。
◆ Source	録画を行うプロファイルを選択します。

### RECORDING SCHEDULE

◆ Sun - Sat	録画を実行する曜日を選択します。
◆ Time	録画を実行する時間を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Always]: 常に録画を行います。</li> <li>• [From][To]: 録画を実行する時間を選択します。</li> </ul>

### RECORDING SETTINGS

◆ Destination	録画したファイルの保存先を選択します。
◆ Total cycling recording size	メディア上で録画に使用できるストレージの最大量を入力してください。ファイルは繰り返しストレージに書き込まれます。必要に応じて、古いファイルは上書きされます。
◆ Size of each file for recording	各録画ファイルのデータサイズを設定します。
◆ Time of each file for recording	各録画ファイルの時間 (秒) を設定します。
◆ File Name Prefix:	取得した録画データにつけるファイル名を設定します。

# SD Card

[\[SETUP\] > \[SD Card\]](#)

SDカードの設定を行います。  
録画した映像の閲覧、再生を行うことができます。

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Setup Wizard  
Network Setup  
Wireless Setup  
Dynamic DNS  
Image Setup  
Audio and Video  
PTZ Setup  
Motion Detection  
Sound Detection  
Time and Date  
Event Setup  
SD Card  
Logout

**SD CARD**  
Here you could browse and manage the record files which stored in SD card.

**SD CARD**  
SD Card: / SD Status: Ready  
Files per Page: 10 Refresh 1 of 1

<input type="checkbox"/> Delete	File	Num of files	Size
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Video</a>	-1	
<input type="checkbox"/>	<a href="#">Picture</a>	-1	

Format SD Card Total: 3871744KB, Used: 32KB, Free: 3871712KB

OK

**Helpful Hints..**  
**Format SD Card:**  
Click this icon, system will automatically format SD card and create "picture" & "video" folders.  
**View recorded picture:**  
If SD stored recorded picture files, enter picture link and choose which picture file you desire to view. You will view picture via image viewer SW. (ie. Windows Image Viewer)  
**Playback recorded video:**  
If SD stored recorded video files, enter video link and choose which video file you desire to playback. Windows will guide you to open/download video file (.AVI format) so that you can playback file via video decoder SW (ie. Windows Media Player)

**SECURITY**

## RECORDING

◆ <b>Format SD Card</b>	SDカードのフォーマットを行います。PictureおよびVideoフォルダが自動的に作成されます。
◆ <b>Picture</b>	リンクをクリックし、SDカードに保存した画像を閲覧します。
◆ <b>Video</b>	リンクをクリックし、SDカードに保存した映像を再生します。
◆ <b>Refresh</b>	SDカードからファイルおよびフォルダ情報をリロードします。

### 重要

SDカードを本体に挿入していない場合は、以下のように表示されます。

**SD CARD**  
Here you could browse and manage the record files which stored in SD card.

**SD CARD**  
The SD Card Storage is unavailable or not formatted.

### メモ

SDカードの挿入位置についてはクイックインストールガイドおよび『[本体各部名称:p.12](#)』参照してください。

---

# Advanced (詳細設定)

デジタル入出力、ICR、アクセスリストなど、カメラの詳細設定を行います。

# 5

■ DI and DO .....	52
■ ICR and IR .....	53
■ HTTPS .....	54
■ Access List .....	55

# DI and DO

[ADVANCED] > [DI and DO]

DI/DOコネクタを使用し、アラームデバイスなどを接続することができます。  
本項目では、デジタル入力 (Digital Input) およびデジタル出力 (Digital Output) の設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

DI and DO	
◆ Digital Input	デジタル入力の状態を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [N.O.]: N.O.は、Normally Openの略です。通常時は回路が開かれています。</li> <li>• [N.C.]: N.C.は、Normally Closedの略です。通常時は回路が閉じられています。</li> </ul>
◆ Digital Output	デジタル出力の状態を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [N.O.]: N.O.は、Normally Openの略です。通常時は回路が開かれています。</li> <li>• [N.C.]: N.C.は、Normally Closedの略です。通常時は回路が閉じられています。</li> </ul>

## 重要

DI/DOコネクタの各ピンの機能については、『DI/DO コネクタについて:p.66』を参照してください。

# ICR and IR

[ADVANCED] > [ICR and IR]

本項目ではICRとIRの設定を行います。

ICR(IR Cut Removable)フィルタは、赤外線線をカットする機能です。夜間モードではフィルタが有効、昼間モードではフィルタが無効となります。撮影環境に応じてフィルタを有効/無効にすることにより、実物に近い色彩の画像を取得することができます。IR LIGHT欄では、IR(赤外線)LEDの設定を行います。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP **ADVANCED** MAINTENANCE STATUS HELP

DI and DO  
ICR and IR  
HTTPS  
Access List  
Logout

**ICR AND IR**

An IR(Infrared) Cut-Removable(ICR) filter can be disengaged from the image path for increased sensitivity in low light environments. The ICR filter will automatically engage depending on the ambient light, allowing the camera to be effective in day/night environments.  
1. Select the Day/Night from the radio button. The available options are Automatic, Schedule mode, Day mode and Night mode.  
2. The default value is Automatic.

Light Sensor Sensitivity  
Light sensor sensitivity has Low, Medium, and High three different levels. You may get current camera light illumination by clicking Refresh button to set proper level of Light sensor sensitivity. For example, when level sets at High less than 30lux. camera will switch Day & Night mode to Night mode.

IR Light  
The built-in IR light illuminators will be activated automatically or manually so as to supplement the low light situation without additional equipment.

Save Settings Don't Save Settings

**ICR**

Removable IR-Cut filter trigger condition:

Automatic Sensitivity   Refresh

Day mode  
 Night mode  
 Schedule mode

Day mode(24hr)  
From   To

**IR LIGHT**

IR Light Control

Off  
 On  
 Sync. With ICR  
 Schedule

IR Light Control On(24hr)  
From   To

Save Settings Don't Save Settings

**Helpful Hints..**

**ICR and IR:**

**Automatic:** The day/Night mode is set automatically. It is normally set in the Day mode and changes to the Night mode in a dark place.

**Day mode:** The Day mode means disable the IR Cut Filter.

**Night mode:** The Night mode means enable the IR Cut Filter.

**Schedule mode:** Set the Day/Night mode using the schedule. Fill in the time so the Day/Night mode is normally set to Day mode and it enters the Day mode at the start time and returns to the Night mode at the end time.

**IR Light Control:**  
In poor light conditions, open IR Light Control to automatically turn on the light to enable you to take clear picture. The IR Light Control has 4 options: Off, On, Sync. with ICR, and Schedule.  
Off: This option disable the IR Light Control.  
On: This option automatically opens the IR Light Control to enable a camera to take clear images in poor light conditions.  
Sync. with ICR: In this option, the IR Light Control will open automatically and follow the ICR setting.  
Schedule: In this option, you have to customize the setting to set the time period you want.

## ICR

◆ <b>Automatic</b>	ICRフィルタの動作モードを自動的に昼間モードから夜間モードに切り替えます。 ・ [Sensitivity]: 動作モードを夜間モードに切り替える光量の閾値(単位:lux)を設定します。
◆ <b>Day mode</b>	昼間モードを選択します。昼間モードではICRフィルタが有効になります。
◆ <b>Night mode</b>	夜間モードを選択します。夜間モードではICRフィルタが無効になります。
◆ <b>Schedule mode</b>	スケジュールモードを選択します。設定したスケジュールに従い、昼間モードに切り替わります。

## IR LIGHT

◆ <b>IR Light Control</b>	赤外線LEDが点灯する際の明るさを選択します。 [Highest]を選択すると、最も明るく赤外線LEDが点灯します。 ・ 選択肢: [Highest][High] [Medium][Low][Lowest]
◆ <b>Off</b>	赤外線LEDを常にオフにします。
◆ <b>On</b>	赤外線LEDを常にオンにします。
◆ <b>Sync. With ICR</b>	ICRの設定と同期して、赤外線LEDのオン/オフを行います。
◆ <b>Schedule</b>	設定したスケジュールに従って赤外線LEDのオン/オフを行います。

# HTTPS

[\[SETUP\] > \[HTTPS\]](#)

HTTPSの設定を行います。  
HTTPSを使用すると、SSL/TLSによる暗号化でHTTP通信を安全に行うことができます。  
有効にするには、証明書の作成とインストールを行う必要があります。

設定が完了したら[Save Settings]をクリックして設定を保存してください。

The screenshot shows the D-Link web interface for the 'ADVANCED' setup page. The main content area is titled 'HTTPS' and contains the following elements:

- A header bar with the D-Link logo and navigation tabs: LIVE VIDEO, SETUP, ADVANCED, MAINTENANCE, STATUS, HELP.
- A left sidebar with navigation options: DI and DO, ICR and IR, HTTPS (selected), Access List, Logout.
- Main content area:
  - Section: **HTTPS**
  - Text: "To enable HTTPS, you have to create and install certificate first."
  - Buttons: "Save Settings" and "Don't Save Settings"
  - Section: **HTTPS**
  - Form:
    - Enable HTTPS secure connection
    - Section: Create certificate method
    - Radio buttons:
      - Create self-signed certificate automatically
      - Create self-signed certificate manually
      - Create certificate request and install
    - Text: "Create certificate: [Create] Private key existed"
  - Section: **CERTIFICATE INFORMATION**
  - Table:
 

Status	Active
Country	TW
State or province	Taiwan
Locality	Taipei
Organization	D-Link
Organization Unit	DHPD Dept.
Common Name	www.dlink.com
  - Buttons: "CSR Property", "Certificate Property", "Remove"
  - Buttons: "Save Settings" and "Don't Save Settings"
- Right sidebar:
  - Section: **Helpful Hints..**
  - Text: "Enable HTTPS secure connection: allows you to enable HTTPS service"
  - Note: "1. The certificate can't be removed while the HTTPS is still enable. To remove the certificate you have to uncheck the 'Enable HTTPS secure connection' first."

## HTTPS

◆ Enable HTTPS secure connection	HTTPSセキュア接続を有効にします。
◆ Create certificate method	<p>証明書の作成方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Create self-signed certificate automatically]: 自己署名証明書を自動で作成します。</li> <li>• [Create self-signed certificate manually]: 自己署名証明書を手動で作成します。</li> <li>• [Create certificate request and install]: 証明書のリクエストとインストールを行います。</li> </ul>
◆ Create certificate	[Create]をクリックし、証明書を作成します。
<b>CERTIFICATE INFORMATION</b>	
証明書の情報が表示されます。	
◆ CSR Property	CSRのプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Certificate Property	証明書のプロパティが別ウィンドウで表示されます。
◆ Remove	証明書を削除します。

### メモ

HTTPSが有効になっている場合は、証明書を削除できません。  
証明書を削除する場合はHTTPSを無効にしてください。

# Access List

[\[ADVANCED\]](#) > [\[Access List\]](#)

本製品へのアクセスを許可／拒否するIPアドレスを設定します。

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP **ADVANCED** MAINTENANCE STATUS HELP

DI and DO  
ICR and IR  
HTTPS  
Access List  
Logout

**ACCESS LIST**  
Here you can set access permissions for users to view your IP camera.

**ALLOW LIST**

Start IP address:   
End IP address:    
Delete allow list:

**DENY LIST**

Start IP address:   
End IP address:    
Delete deny list:

**Helpful Hints..**

**Allow List:**  
"Start IP Address" The starting IP Address of the devices (such as a computer) that have permission to access the video of the IP camera.  
"End IP Address" The ending IP Address of the devices (such as a computer) that have permission to access the video of the IP camera.  
"Delete Allow List" Remove the customized setting from the Allow List.

**Deny List:**  
"Start IP Address" The starting IP Address of the devices (such as a computer) that don't have permission to access the video of the IP camera.  
"End IP Address" The ending IP Address of the devices (such as a computer) that don't have permission to access the video of the IP camera.  
"Delete Deny List" Remove the customized setting from the Deny List.

## ALLOW LIST

◆ Start IP address	接続を許可するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ End IP Address	接続を許可するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ Delete allow list	許可リストを削除します。 ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

## DENY LIST

◆ Start IP address	接続を拒否するIPアドレス範囲の開始IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ End IP Address	接続を拒否するIPアドレス範囲の終了IPアドレスを入力します。 IPアドレス範囲の入力後、[Add]をクリックしてリストに追加します。
◆ Delete deny list	拒否リストを削除します。 ドロップダウンからリストを選択し、[Delete]をクリックします。

## メモ

許可リストと拒否リストの範囲が重複した場合は、拒否リストの設定内容が優先されます。

例)

許可リスト: 1.1.1.0 - 192.255.255.255、拒否リスト: 1.1.1.0 - 170.255.25の場合  
→ 171.0.0.0 - 192.255.255.255のIPアドレスを持つユーザのみがカメラにアクセスできます。

---

# Maintenance(メンテナンス)

# 6

管理者情報の設定やファームウェアアップグレード、工場出荷時設定へのリセットなど、本製品のメンテナンスを行います。

■ Admin.....	57
■ System .....	59
■ Firmware Upgrade.....	60



## Admin

[\[MAINTENANCE\]](#) > [\[Admin\]](#)

本製品にアクセスするユーザアカウントの設定や、デバイス名の設定などを行います。

DCS-5222LB1		LIVE VIDEO	SETUP	ADVANCED	MAINTENANCE	STATUS	HELP
Admin	<b>ADMIN</b>					Helpful Hints..	
System	Here you can change the administrator's password for your IP camera as well as add and/or delete user account(s). You can configure the information, such as IP camera's name and time via this page. You can also enable the OSD (On-Screen Display) feature in order to display the IP camera name and time stamp for your video recordings.					Enabling OSD, the IP camera name and time will be displayed on the video screen for the user.	
Firmware Upgrade	<b>ADMIN PASSWORD SETTING</b>					For security purposes, it is recommended that you change the password for your administrator account. Be sure to write down the new password to avoid having to reset the IP camera in the event that it is forgotten.	
Logout	New Password <input type="text"/> 32 characters maximum						
	Retype Password <input type="text"/> Save						
	<b>ADD USER ACCOUNT</b>					<b>LED:</b> In the near panel of your camera there is a LED beside the network adapter. ON: The LED will flash a light to indicate if the network is working or not. OFF: No light will show, forth option is turn off.	
	User Name <input type="text"/> 20 users maximum					<b>Privacy Control:</b> Allow you to configure if camera could enter Privacy mode or not.	
	New Password <input type="text"/> 32 characters maximum					<b>Privacy Off:</b> Camera is in a normal operating mode.	
	Retype Password <input type="text"/>					<b>Privacy On:</b> Camera is in a Privacy mode. Live Video, Video Clip, Snapshot and SD Recording will be turned off.	
	Add						
	<b>USER LIST</b>						
	User Name <input type="text"/> -- User list -- Delete						
	<b>DEVICE SETTING</b>						
	IP Camera Name <input type="text"/> DCS-5222LB 63 characters maximum						
	<input checked="" type="checkbox"/> Enable OSD						
	Label <input type="text"/> DCS-5222LB 30 characters maximum						
	Show Time <input checked="" type="checkbox"/>						
	Save						
	Calibration Device <input type="text"/> Calibrate						
	<b>LED</b>						
	LED <input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off Save						
	<b>PRIVACY CONTROL</b>						
	<input type="checkbox"/> Privacy Control						
	<input checked="" type="radio"/> Privacy Off						
	<input type="radio"/> Privacy On						
	Save						

**ADMIN PASSWORD SETTING**

Web GUI にログインする管理者パスワードを設定します。  
以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ <b>New Password</b>	パスワードを入力します。
◆ <b>Retype Password</b>	確認のため再度パスワードを入力します。

**ADD USER ACCOUNT**

Web GUI にログインするユーザアカウントを追加します。以下の項目を入力後、[Add]をクリックしてアカウントを追加します。

◆ <b>User Name</b>	ユーザ名を入力します。
◆ <b>New Password</b>	パスワードを入力します。
◆ <b>Retype Password</b>	確認のため再度パスワードを入力します。

**USER LIST**

Web GUI にログインするユーザアカウントを削除します。ユーザ名を選択後、[Delete]をクリックしてアカウントを削除します。

◆ <b>User Name</b>	削除するユーザを選択します。
--------------------	----------------

**DEVICE SETTING**

IPカメラのデバイス名およびOSD(On-Screen Display)の設定を行います。以下の項目を入力後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ <b>IP camera Name</b>	IPカメラ名を入力します。
◆ <b>Enable OSD</b>	OSD機能を有効にします。有効にすると、映像にラベル名や時刻を表示することができます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Label]: ラベル名を入力します。</li> <li>• [Show time]: 時刻の表示を有効にします。</li> </ul>

**LED**

IPカメラのLEDのON/OFFを切り替えます。選択後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ <b>ON / OFF</b>	[On]または[Off]を選択します。
-------------------	---------------------

**PRIVACY CONTROL**

プライバシーモードの設定を行います。プライバシーモードをオンにすると、撮影が行われません。  
選択後、[Save]をクリックして設定を保存します。

◆ <b>Privacy Control</b>	チェックをいれると、プライバシーモードのオン/オフが選択できるようになります。
◆ <b>Privacy Off</b>	プライバシーモードをオフにします。
◆ <b>Privacy On</b>	プライバシーモードをオンにします。

**メモ**

プライバシーモードがオンになっている場合、Live Video画面には以下のように表示されます。

<b>LIVE VIDEO</b>
This section shows your camera's live video. You can control your settings using the buttons below. Current resolution is x .
<b>LIVE VIDEO</b>
This camera is currently in Privacy mode. To leave Privacy mode, Please go to <a href="#">Admin</a>

# System

[MAINTENANCE] > [System]

設定のバックアップ、リストア、初期設定へのリセットを行います。  
また、本製品をリポートすることもできます。リポートは設定したスケジュールにしたがって行うことも可能です。

## SYSTEM

◆ Save To Local Hard Drive	[Save Configuration]をクリックし、ローカルハードドライブへ設定を保存します。
◆ Load From Local Hard Drive	ローカルハードドライブから設定を読み込みます。 ①[参照]をクリックして設定ファイルを選択します。 ②[Load Configuration]をクリックして設定を読み込みます。
◆ Restore To Factory Defaults	[Restore Factory Defaults]をクリックし、設定を工場出荷時の状態にリセットします。

## REBOOT

◆ Reboot Device	[Reboot Device]をクリックし、IPカメラをリポートします。
◆ Enable Schedule Reboot	設定したスケジュールにしたがってIPカメラのリポートを行います。 ①[Sun]-[Sat]からリポートを行う曜日を選択します。 ②[Time]でリポートを行う時刻を設定します。 ③[Save] をクリックして設定を保存します。

# Firmware Upgrade

[\[MAINTENANCE\]](#) > [\[Firmware Upgrade\]](#)

ファームウェアのアップグレードを行います。

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Admin  
System  
Firmware Upgrade  
Logout

**FIRMWARE UPGRADE**

A new firmware upgrade may be available for your IP camera. It is recommended to keep your IP camera firmware up-to-date to maintain and improve the functionality and performance of your internet IP camera. Click here [D-Link Support Page](#) to check for the latest firmware version available.

To upgrade the firmware on your IP camera, please download and save the latest firmware version from the D-Link Support Page to your local hard drive. Locate the file on your local hard drive by clicking the Browse button. Once you have found and opened the file using the browse button, click the "Upload" button to start the firmware upgrade.

**FIRMWARE INFORMATION**

Current Firmware Version:	2.01.05
Current Product Name:	DCS-5222LB1

**FIRMWARE UPGRADE**

File Path:

**Helpful Hints..**

Firmware upgrade are released periodically to improve the functionality of your IP camera and also to add new features. If you run into a problem with a specific feature of the IP camera, check our support site by clicking [here](#) to check for an upgrade and see if updated firmware is available for your IP camera.

## FIRMWARE INFORMATION

現在のファームウェアバージョンが表示されます。

## FIRMWARE UPGRADE

ファームウェアアップグレードを行います。

- ◆ **File Path:**
- ①[参照]をクリックしてファームウェアを選択します。
  - ②[Upload]をクリックしてファームウェアをアップロードします。
  - ③アップロードの進捗状況を示す画面が表示されます。完了までそのままお待ちください。

### 重要

ファームウェアアップグレードが完了するまでそのままお待ちください。

---

# Status(ステータス)

# 7

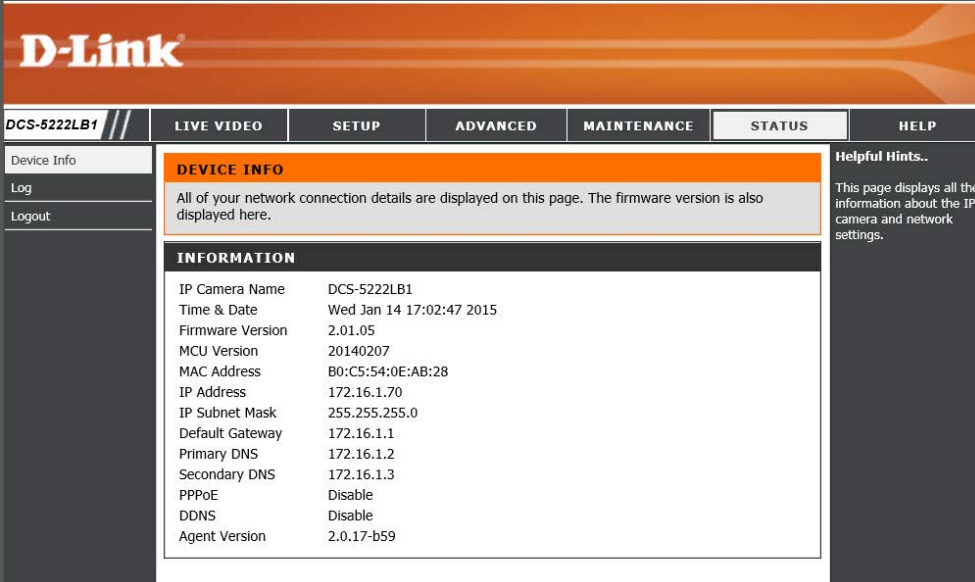
カメラのデバイス情報とログを表示します。

■ Device Info .....	62
■ Log .....	63

# Device Info

[\[STATUS\]](#) > [\[Device Info\]](#)

IPカメラ名やIPアドレス、ファームウェアバージョンなど、デバイスの情報が表示されます。



The screenshot shows the D-Link web interface for a DCS-5222LB1 camera. The top navigation bar includes links for LIVE VIDEO, SETUP, ADVANCED, MAINTENANCE, STATUS, and HELP. The main content area is titled "DEVICE INFO" and contains the following information:

INFORMATION	
IP Camera Name	DCS-5222LB1
Time & Date	Wed Jan 14 17:02:47 2015
Firmware Version	2.01.05
MCU Version	20140207
MAC Address	B0:C5:54:0E:AB:28
IP Address	172.16.1.70
IP Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	172.16.1.1
Primary DNS	172.16.1.2
Secondary DNS	172.16.1.3
PPPoE	Disable
DDNS	Disable
Agent Version	2.0.17-b59

Helpful Hints.. This page displays all the information about the IP camera and network settings.

## Log

IPカメラの動作のログを確認できます。

[STATUS] > [Log]

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Device Info  
Log  
Logout

**SYSTEM LOG**  
The system log records IP camera events that have occurred.

**CURRENT LOG**

1. 2015-01-14 17:06:42 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
2. 2015-01-14 17:06:31 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
3. 2015-01-14 17:06:20 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
4. 2015-01-14 17:03:58 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
5. 2015-01-14 17:03:46 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
6. 2015-01-14 17:03:11 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
7. 2015-01-14 17:03:03 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
8. 2015-01-14 17:02:43 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
9. 2015-01-14 17:02:11 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
10. 2015-01-14 17:01:08 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
11. 2015-01-14 17:01:06 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
12. 2015-01-14 17:01:03 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
13. 2015-01-14 17:01:01 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
14. 2015-01-14 17:00:54 admin LOGIN OK FROM 172.16.1.66
15. 2015-01-14 17:00:23 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
16. 2015-01-14 17:00:04 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
17. 2015-01-14 17:00:02 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
18. 2015-01-14 16:59:54 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
19. 2015-01-14 16:59:47 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger
20. 2015-01-14 16:59:41 IP CAMERA Received PASSIVE-INFRARED-SENSOR Trigger

First Page Previous 20 Next 20  
Clear Download

**Helpful Hints..**  
You can save the log to your local hard IP camera by clicking the Download button, and you can clear the log by clicking on the Clear button.

## CURRENT LOG

◆ First Page	最新のログを20件表示します。
◆ Previous 20	前のログを20件表示します。
◆ Next 20	次のログを20件表示します。
◆ Clear	ログを消去します。
◆ Download	ログをtxt形式でダウンロードします。

---

# 付録

# 8

工場出荷時状態へのリセットとよくあるご質問について記載しています。

■ 工場出荷時設定に戻す .....	65
リセットボタンを使用する場合 .....	65
Web GUIからリセットする場合 .....	65
■ DI/DO コネクタについて .....	66
各ピンの機能 .....	66
配線図 .....	66
■ FAQ .....	67
■ 機能設定例 .....	68
対象機器について .....	68
SDカードへの動体検知録画設定 .....	68
構成例 .....	68
設定例 .....	69
設定後の動作 .....	69
動体検知機能を有効にする .....	70
SDカードを設定する .....	71
SDカードへの録画データ設定をする .....	72
イベントの設定 (SDカードへの録画) をする .....	73
SDカードの録画データ確認 .....	74

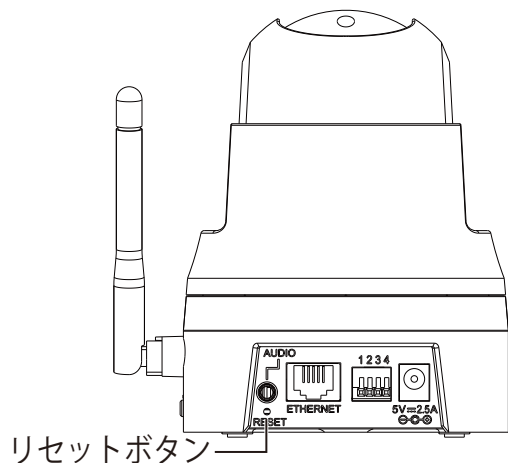


## 工場出荷時設定に戻す

本製品の設定を工場出荷時状態へリセットする方法について説明します。

### ■リセットボタンを使用する場合

本製品のリセットボタンを押してください。



### ■Web GUIからリセットする場合

以下の画面で[Restore Factory Defaults]をクリックします。

[\[MAINTENANCE\] > \[System\]](#)

**D-Link**

DCS-5222LB1 // LIVE VIDEO SETUP ADVANCED MAINTENANCE STATUS HELP

Admin  
System  
Firmware Upgrade  
Logout

**SYSTEM**  
Here you may backup, restore, and reboot your IP camera.

**SYSTEM**

Save To Local Hard Drive

Load From Local Hard Drive

Restore To Factory Defaults

**REBOOT**

Reboot Device

Enable Schedule Reboot

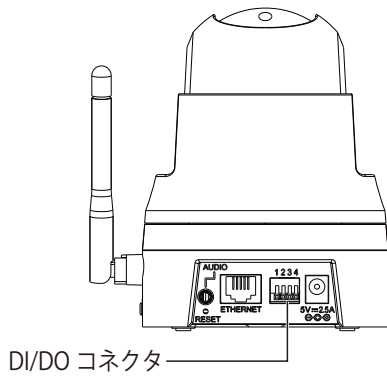
Sun  Mon  Tue  Wed  Thu  Fri  Sat

Time  :  [hh:mm]

**Helpful Hints..**  
After the factory's default settings have been restored, use the installation wizard software provided with your IP camera to search and connect to the IP camera.

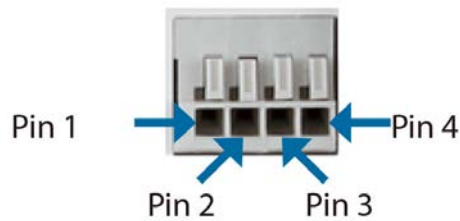
# DI/DO コネクタについて

本製品のDI/DOコネクタの詳細について説明します。



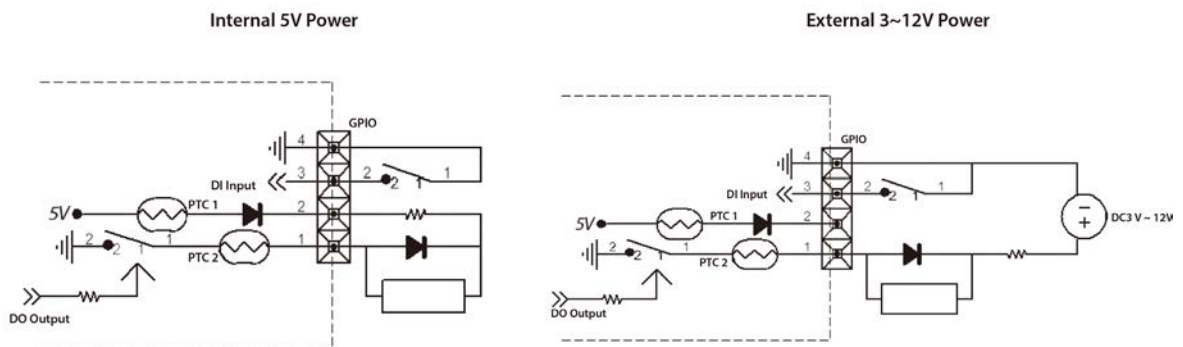
## ■各ピンの機能

本製品のDI/DOコネクタの詳細について説明します。



Pin	機能	詳細
1	DO (デジタル出力)	デジタル出力端子 オープンドレインNFETランジスタを使用し、GNDに接続されています。外部リレーとともに使用する場合は、過度電流を避けるためにダイオードと負荷を並列に接続する必要があります。 最大負荷は100mAです。
2	DC5V OUTPUT	DC電源出力 ・ DC5V ・ 電源出力電流: 最大100mA
3	DI (デジタル入力)	デジタル入力端子 GNDと接続します。N.O.またはN.C.の設定により動作します。
4	GND	GND

## ■配線図



## FAQ

**Q 本製品の設定を行うコンピュータからWeb ベースの設定メニューにアクセスできません。**

**A** ①Webブラウザが本製品の対応しているバージョンであるか確認してください。

②LED が点灯していることを確認してください。  
LED が点灯していない場合は、UTP ケーブルが正しくポートに接続されているか確認してください。

③設定用PC のIP アドレスが本製品と同じアドレス範囲およびサブネット内であるか確認してください。

④コンピュータ上のすべてのインターネットセキュリティソフトウェアの動作を無効にしてください。  
Zone Alarm、Black Ice、Sygate、Norton Personal ファイアウォール、およびWindows Personal ファイアウォールなどのソフトウェアファイアウォールは設定ページへのアクセスを妨害する可能性があります。

⑤上記の点を確認してもアクセスできない場合は、一度本体の電源を抜き、再接続してみてください。

**Q パスワードを忘れた場合はどうすればよいでしょうか。**

**A** 設定のリセットを行ってください。  
詳細は『[工場出荷時設定に戻す : p.65](#)』を参照してください。

**Q 電源LEDが点灯しません。**

**A** 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。  
また、Web GUIの[MAINTENANCE]>[Admin]のLEDセクションで、LED表示をOffに設定した場合は、電源が入っていてもLEDは点灯しません。

**Q ネットワークカメラが、ローカルでは動作しますがリモートで動作しません。**

**A** ファイアウォールの設定が原因の可能性があります。  
システム管理者にインターネットファイアウォールの設定を確認してください。

**Q WPSとはなんですか。**

**A** 「WPS」は、無線LANの機器同士の暗号設定を簡単におこなうための規格です。  
無線LANの設定には「暗号キー」を手で入力するなどの作業が必要でしたが、WPSに対応した製品同士であれば、ボタンを押すだけで設定が完了します。

**Q WPS を使ってカメラを接続する方法をおしえてください。**

**A** カメラの背面にあるWPS ボタンを5 秒間、押下し続けます。  
青色のWPS ステータスLED が点滅します。

60秒以内にワイヤレスルータもしくはアクセスポイントのWPSボタンを押下します。  
ルータによっては、Webインタフェースにログインして、WPS機能を実行するための画面上のボタンをクリックする必要がある場合があります。WPSボタンがルータもしくはアクセスポイントのどこにあるかわからない場合は、ルータのユーザマニュアルを参照してください。

**Q マイクとスピーカを本製品に接続するにはどうすればよいですか？**

**A** 同梱のオーディオ イン/アウトケーブルを使用し、マイクやスピーカを接続することができます。  
(1)ピンクのコネクタ（オーディオ入力）にマイクを接続し、緑のコネクタ（オーディオ出力）にスピーカを接続します。  
(2)DCS-5222Lの背面にある音声入出力端子に、オーディオケーブルのオスコネクタを接続します。

## 機能設定例

本項では、一般によく使う機能についての設定例を記載します。実際に設定を行う際の参考にしてください。

- SD カードへの動体検知録画

### ■対象機器について

本コンフィグレーションサンプルは以下の製品に対して有効な設定となります。

- DCS-6004L
- DCS-5222L
- DCS-7010L

**注意** 当項目において機器イラストや画像は機種に依らず、共通化、または個別のものを掲載しています。そのため、製品によっては表示項目や種別が異なる場合などがあることを予めご了承ください。実際の設定については、ご使用の状況に置き換えてご対応ください。

### ■SDカードへの動体検知録画設定

#### 概要

SD カードへの動体検知録画の構成例、設定例、Web-UI の操作などについて紹介します。

#### 設定手順

##### ● 構成例



図 8-1 SD カードへの動体検知構成例

## ● 設定例

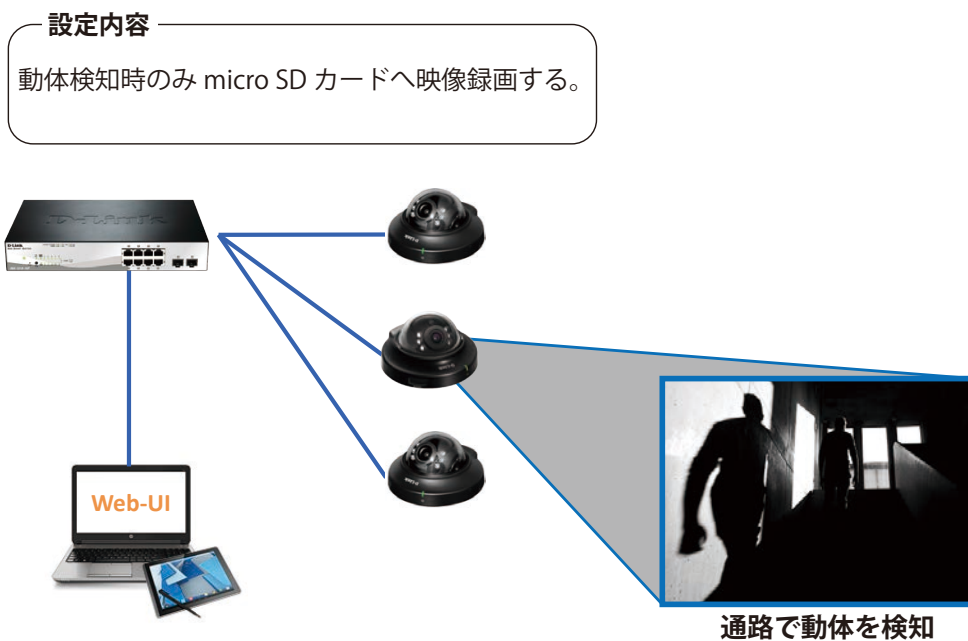


図 8-2 SD カードへの動体検知設定内容

## ● 設定後の動作



図 8-3 SD カードへの動体検知設定後の動作

## ● 動体検知機能を有効にする



図 8-4 動体検知機能の有効化

1. **セットアップ > 動体検知** で「動体検知」を表示させます。
2. 「ライブビデオ」の項目で「動体検知を有効化」にチェック。
3. 下部の画面で動体検知範囲を指定します（青色に表示）。
4. 「感度」で感度レベルを指定します。
5. 「設定を保存」をクリックし設定内容を保存します。

## ● SDカードを設定する

動体検知時の録画保存先をSDカードに設定します。

1. セットアップ> イベントセットアップで「イベントセットアップ」を表示させます。
2. 「サーバ」の項目で「追加」をクリックします。「サーバ」設定の画面が表示されます。

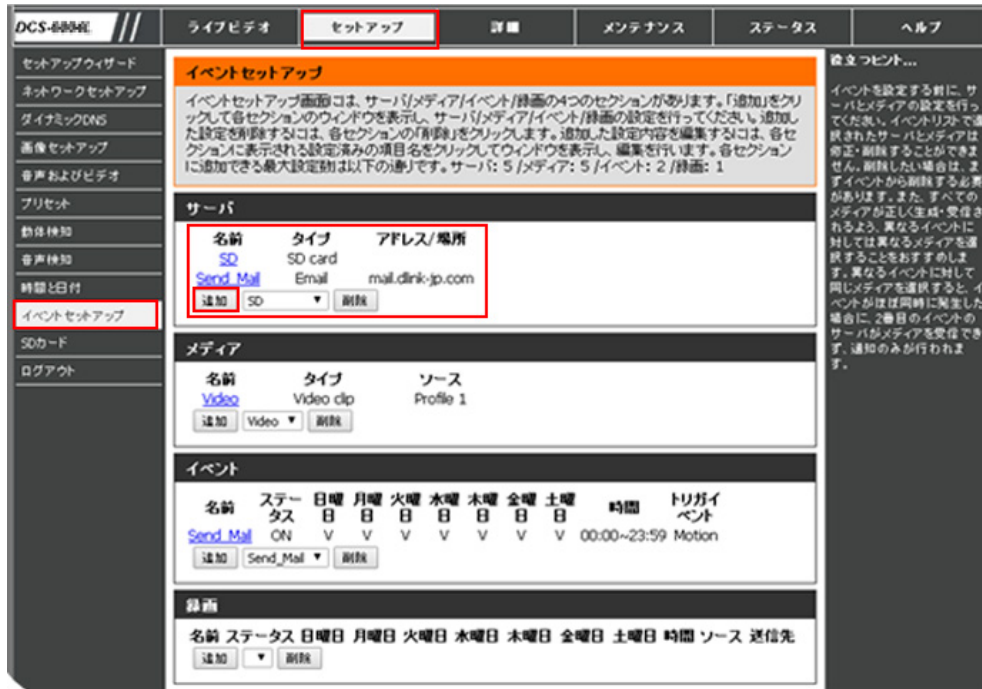


図 8-5 SD カード設定①

3. 「サーバタイプ」の項目で「サーバ名」を指定します。
4. 「サーバタイプ」をSDカードに指定します。
5. 「設定を保存」をクリックして設定を保存します。

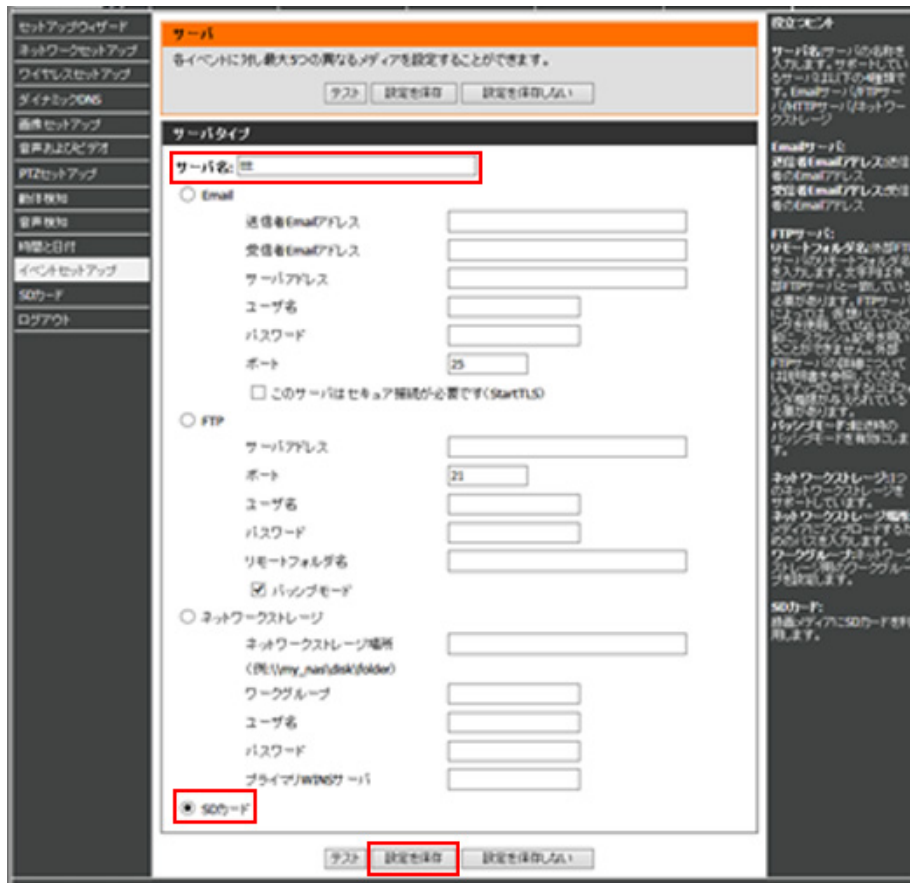


図 8-6 SD カード設定②

● SDカードへの録画データ設定をする  
 動体検知時のSDカード録画データの内容を設定します。

1. セットアップ>イベントセットアップで「イベントセットアップ」を表示させます。
2. 「メディア」の項目で「追加」をクリックします。「メディア」設定の画面が表示されます。



図 8-7 SD カードへの録画データ設定

3. ここではSDへ保存する録画の内容を設定します。録画用のため、大きめのサイズの設定を推奨します。
4. 「メディアタイプ」「メディア名」の項目でメディアの名称を入力します。
5. 「ビデオクリップ」の項目で、「イベント前録画」「最大録画時間」「最大ファイルサイズ」「ファイル名プレフィックス」を指定します。
6. 「設定を保存」をクリックして設定を保存します。

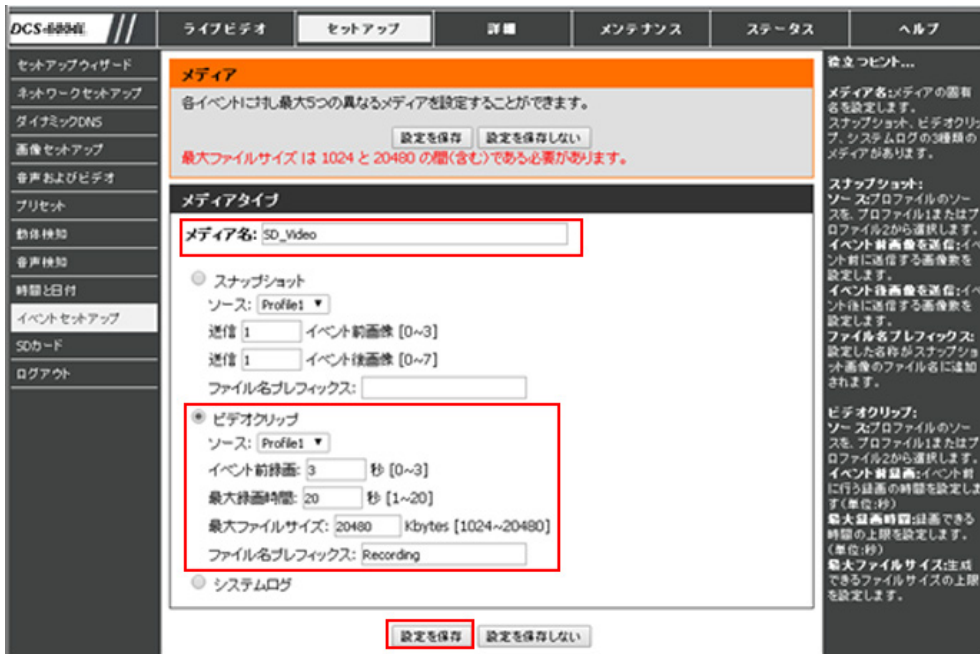


図 8-8 メディア設定



## ● イベントの設定 (SDカードへの録画) をする

SD カード録画のトリガーとなる「動体検知イベント」を設定します。

1. セットアップ> イベントセットアップで「イベントセットアップ」を表示させます。
2. 「イベント」の項目で「追加」をクリックします。イベント設定の画面が表示されます。



図 8-9 動体検知イベント設定①

3. 「イベント」の項目で「イベント名」を入力、「このイベントを有効化」にチェックを入れます。
4. 「トリガ」の項目で「ビデオ動体検知」（初期値）を選択し、「イベントスケジュール」では「常時」（初期値）を指定します。
5. 「アクション」の項目で「SD」を選択し、「SD用の保存メディア」を指定します。
6. 「設定を保存」をクリックして設定を保存します。



図 8-10 動体検知イベント設定②

## ● SDカードの録画データ確認

1. セットアップ>SDカードで「Video」をクリックします。



図 8-11 SDカードの録画データ確認

2. 「SDカード」の項目で日付表示されているファイル（フォルダ）をクリックします。



図 8-12 ファイル（フォルダ）選択（日付）

3. 「SDカード」の項目で時間表示されているファイル（フォルダ）をクリックします。



図 8-13 ファイル（フォルダ）選択（時間）

4. 「SDカード」の項目で「年/日付/時間/分/秒」で表示されているファイルをクリックします。ファイル名をクリックするとダウンロードが開始されます。



図 8-14 ファイル選択（時間/分/秒表示）